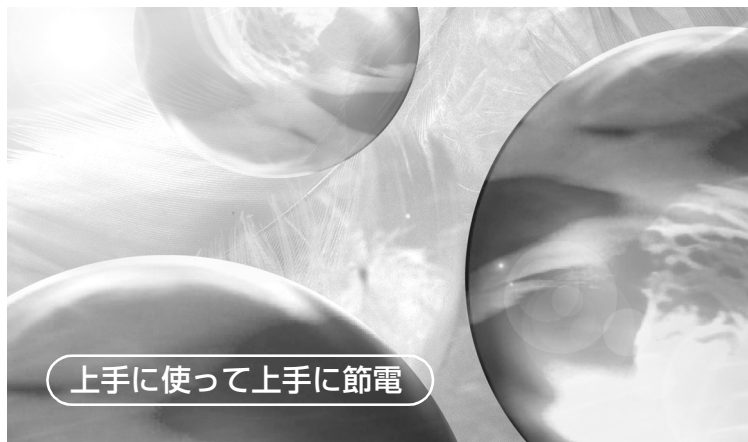
Panasonic®

取扱説明書

SD ビデオカメラ

品番 SDR-S300

保証書別添付

このたびは、SD ビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(108 ～ 117 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

LEICA DICOMAR

VQT0U29

もくじ

はじめに

準備する

撮影する

再生する

パソコンで使う

その他

■ 英語のクイックガイドを P122 ～ 126 に記載しております。どうぞご利用ください。

■ The English Quick guide is indicated on P122 to P126.
Refer to the pages if you prefer English.

① まずお読みください！

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。
特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機および SD カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気を付けください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ 参照ページについて

参照いただくページを **(P00)** で示しています。

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカードです。
本機では以下の容量(8 MB～2 GBまで)のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。 **http://panasonic.jp/support/video**

- **ビデオ撮影に使用できる SD メモリーカードについては 36 ページをお読みください。**
- SD メモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合や、認識しなくなる場合があります。このようなときは、本機でフォーマットを行ってください。**(パソコン（のエクスプローラ）ではフォーマットしないでください)**
- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。

SD カードについて

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書では、バッテリーパックのことを「バッテリー」、SD メモリーカード / miniSD™ カードのことを「SD カード」と記載しています。
（miniSD™ カードをお使いになるには、miniSD™ アダプターが必要です）
- SD ロゴは商標です。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- LEICA/ライカはライカマイクロシステム IR GmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ディコマーはライカカメラ AG の登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ホームページではビデオの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

また製品のサポート情報については

http://panasonic.jp/support

をご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

❷ 付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2005 年 10 月現在のものです。

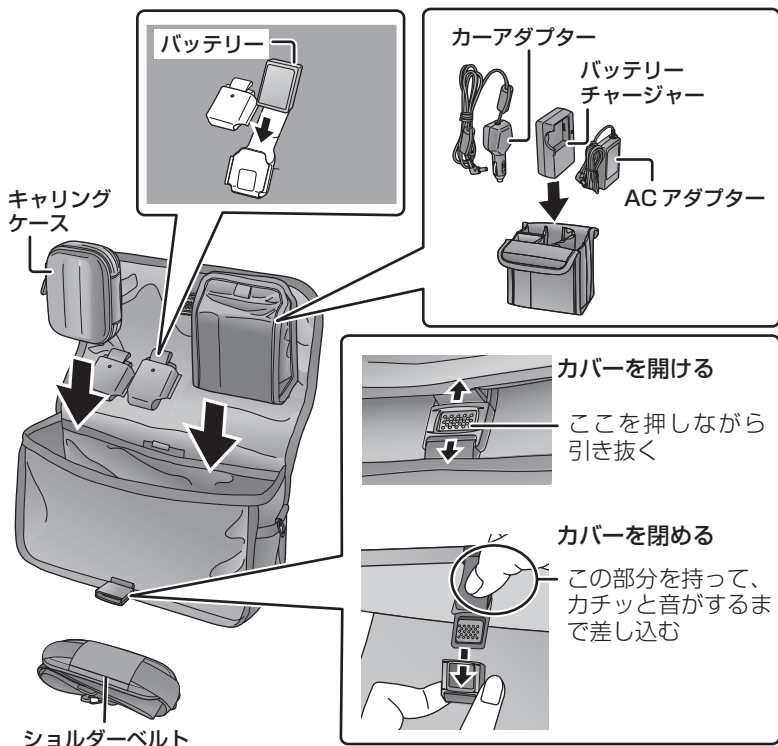
□ SDメモリーカード★ （2 GB） RP-SDQ02G	□ ワイヤレスリモコン★ N2QACC000008 □ コイン電池☆ CR2025
□ バッテリーパック★ （2 個） VW-VBE10	□ ハンドストラップ★ VFC4144
□ 電源コード★（2 本） K2CA2DA00009 ● AC アダプター / バッテリーチャージャー用	□ USB 接続ケーブル★ VFA0453
□ ACアダプター★ VSK0681	□ ヘッドホン接続ケーブル★ K2KZ99Z00001
□ マルチケーブル★ K2KZ9CB00001	□ CD-ROM ☆
□ バッテリーチャージャー★ VSK0683	□ キャリングケース★ VFC4145
□ カーアダプター★ VFA0460 □ キャップ外しシート （カーアダプター用）★ VYC0942	□ キャリングバッグ★ VFC4146
□ バッテリーケース★ VFC3835	

別売アクセサリー	バッテリーパック	VW-VBE10★
	テレコンバージョンレンズ	VW-LT3714M2★
	ワイドコンバージョンレンズ	VW-LW3707M3★

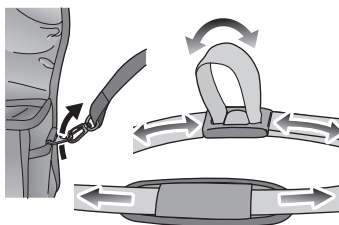
付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。（☆印は「パナセンス」では取り扱っていません）

Pana Sense http://www.sense.panasonic.co.jp/

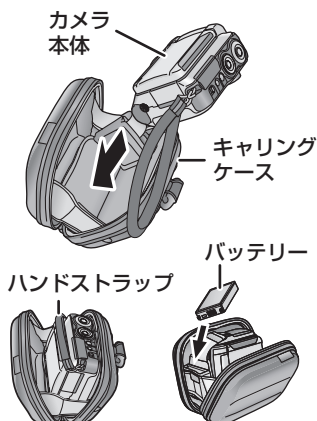
キャリングバッグ

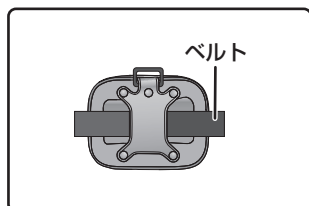
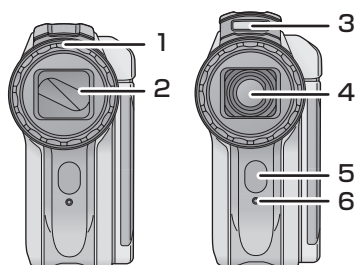
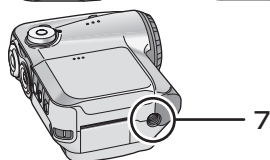
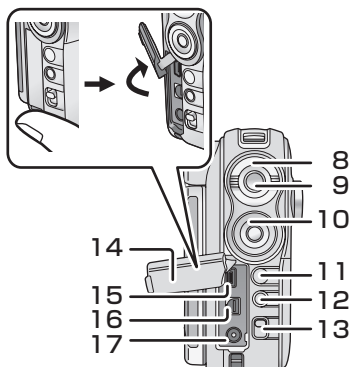
本体や付属品を収納するのにお使いください。

② 付属品（つづき）

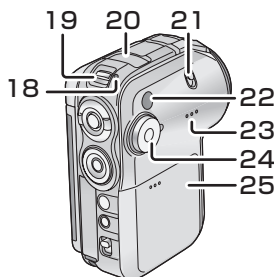
- 付属のコード類などはキャリングバッグの内側にあるポケットに収納してください。

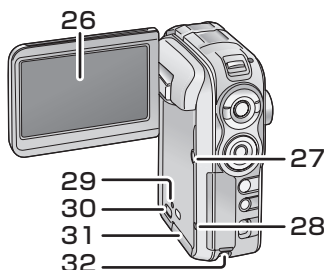
■ ショルダーベルトを取り付ける

止め具を引っ掛けて、ベルトの長さを調節する

- 取り付けたあと、ショルダーベルトが外れないか確認してください。

キャリングケース

レンズ部を下にして本機を収納し、ファスナーを閉める

- キャリングケースに予備のバッテリーを収納することができます。
- ハンドストラップもキャリングケースの中に収納してください。
- ベルトにとおしてもお使いいただけます。

③ 各部の名前

1 レンズフード（P10）
2 レンズカバー
3 フラッシュ（P56）
4 レンズ（LEICA DICOMAR）
5 リモコンセンサー（P12）
6 お知らせランプ（P34）

7 三脚取付穴（P10）

8 ズームレバー［W/T］（P38）
ボリュームレバー［+VOL−］（P60）
9 撮影ボタン（P35、52）
10 カーソルキー（P23）
- 上下左右を押すと選択します。
- 中央を押すと決定します。

11 メニューボタン［MENU］（P27）
12 削除ボタン［🗑］（P64）
13 オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］（P34、45 ～ 50）
14 端子カバー（P69、72、82）
15 USB 端子 ［ψ］（P69、82）
16 マルチコネクター［MULTI］（P11、72）
17 DC 入力端子［DC IN 9.3V］（P18）

18 動作表示ランプ（P16、19、20）
19 電源スイッチ［ON/OFF］（P19）
20 内蔵ステレオマイク
21 フラッシュレバー［OPEN⚡］（P56）
22 白バランスセンサー（P49）
23 スピーカー（P60）
24 モードダイヤル（P21）
25 バッテリーカバー（P17）

③ 各部の名前（つづき）

26 液晶モニター（P22、121）
27 パワー LCD ボタン［POWER LCD］（P32）
28 リセットボタン［RESET］（P103）
29 カード動作中ランプ［ACCESS］（P14）
30 カード扉開くレバー（P13）
31 カード扉［SD CARD］（P13）
32 ハンドストラップ取付部（P11）

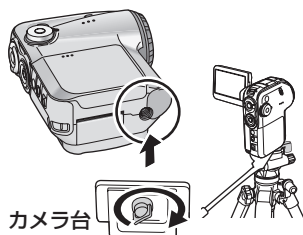
レンズフード

外すときは反時計方向に回し、付けるときはレンズフードの凸部をはめ込んでから、時計方向に回します。

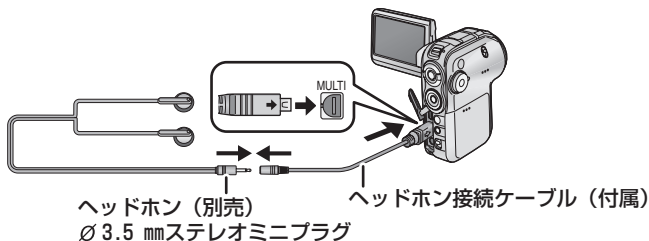
- テレコンバージョンレンズ/VW-LT3714M2（別売）やワイドコンバージョンレンズ /VW-LW3707M3（別売）は、レンズフードを外してから取り付けてください。
- 別売りのテレコンバージョンレンズ/VW-LT3714M2 やワイドコンバージョンレンズ /VW-LW3707M3 装着時は、安定するように横に寝かすなどして本機を置いてください。

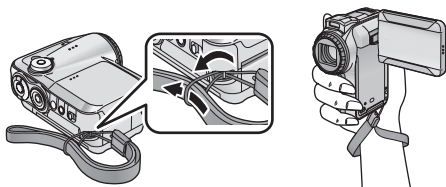
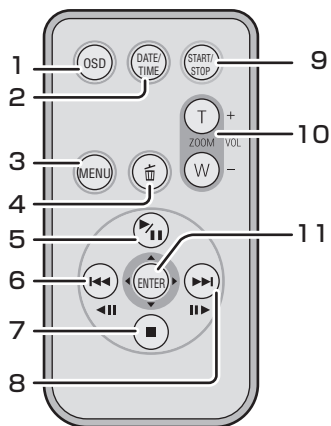
三脚取付穴

三脚（別売）を取り付けるための穴です。（取り付けかたは、三脚の説明書をお読みください）
本機にはボス穴がありませんので、三脚に取り付けて使うときは、ボスのない三脚をお使いください。ボスが固定されている三脚に無理に取り付けると、本機に傷が付く原因となります。

- 三脚使用時は、リモコンで操作すると便利です。
- 三脚使用時は、カード扉やバッテリーカバーを開くことができません。あらかじめ SD カードやバッテリーを入れてから三脚に取り付けてください。（P13、17）

マルチコネクター [MULTI]

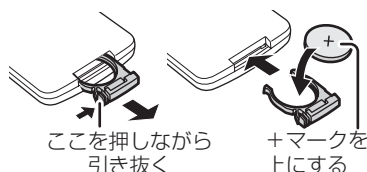
マルチケーブル（付属）、またはヘッドホン接続ケーブル（付属）以外は接続しないでください。正常に音が出ない場合があります。

■ ヘッドホン接続ケーブル（付属）でヘッドホンを接続する

ハンドストラップ取付部

落下防止のため、ハンドストラップ（付属）の使用をおすすめします。

ワイヤレスリモコン

1 表示出力ボタン［OSD］（P73）
2 年月日 / 時刻ボタン［DATE/TIME］（P30）
3 メニューボタン［MENU］（P12）
4 削除ボタン［🗑］（P64）
5 再生 / 一時停止ボタン［▶/❚❚］（P12、59、62）※
6 早戻しボタン［|◀◀］(P12、59、62)※
7 停止ボタン［■］（P12、59、62）※
8 早送りボタン［▶▶|］(P12、59、62)※
9 撮影ボタン［START/STOP］※
10 ズーム / 音量ボタン［T]/[W］※
11 決定ボタン［ENTER］（P12）

※ 撮影操作 / 再生操作 / 音量調整部
　本体のボタンと同じ働きをします。

③ 各部の名前（つづき）

■ ワイヤレスリモコンにコイン電池(付属)を入れる

1）ホルダーを引き抜く

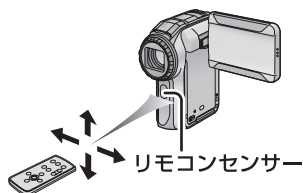
2）電池を入れて、ホルダーを戻す

■ コイン電池について

- ワイヤレスリモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池（CR2025）が消耗しています。新しい電池と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です）
- コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

■ ワイヤレスリモコンが使える範囲

リモコンセンサーに対して、
距離：約 5 m 以内
角度：上に約 10°、下・左右に約 15°

- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコンセンサー部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。

■ ワイヤレスリモコンでメニュー操作する(P27)

メニュー画面の変化は本体のボタンを使ったときと同じです。

1）メニューボタンを押す

2）メニュー項目を選ぶ

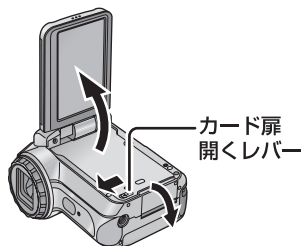
- 本体のカーソルキーの上下左右のかわりに再生 / 一時停止ボタン［▶/❚❚］、停止ボタン［■］、早戻しボタン［⏮］、早送りボタン［⏭］、決定ボタン［ENTER］を使います。

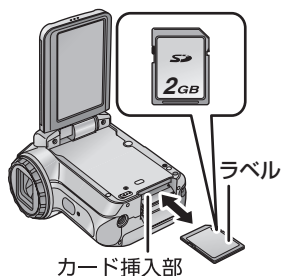
3）決定ボタン［ENTER］を押して設定を終了する

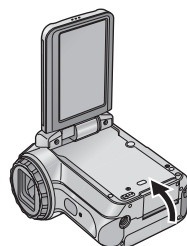
SD カードを入れる（出す）

SD カードの出し入れは、必ず電源スイッチを［OFF］にしてから行ってください。(P19)

電源を入れた状態で SD カードを出し入れすると、本機の誤動作や SD カード内のデータの破壊につながる恐れがあります。

1

液晶モニターを開いて、カード扉開くレバーをスライドさせてカード扉を開く

2

カード挿入部に SD カードを入れる（出す）

- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜いてください。

カード扉を閉じる

① SD カードを入れる（出す）（つづき）

■ 使用可能な SD メモリーカードについて

撮影モード	SD メモリーカード容量		
	8 MB、16 MB	32 MB、64 MB、128 MB	256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで
ビデオ撮影モード	使用できません	動作保証しておりません※	36 ページをお読みください
写真撮影モード	使用できます		

※ビデオ撮影中に突然記録が停止することがあります。（P37）

■ SD カードについて

- SD カード裏の接続端子部分に触れないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機やSDカードの故障などによりSDカードのデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータは、付属の USB 接続ケーブル、MotionSD STUDIO（P75）などを使って、事前にパソコンに保存しておいてください。（P82）（本機で撮影したデータを取り込むときは、必ず MotionSD STUDIO をお使いください）
- データの書き込みを繰り返した SD カードをお使いの場合、ビデオの残り撮影可能時間が短くなることがあります。（P37）

■ カード動作中ランプについて

- カードアクセス（認識、記録、再生、削除など）中に点灯します。
- 点灯中に以下の動作を行わないでください。SDカードやSDカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  - ・ **カード扉を開けて SD カードを抜き差しする**
  - ・ **電源スイッチやモードダイヤルを操作する**

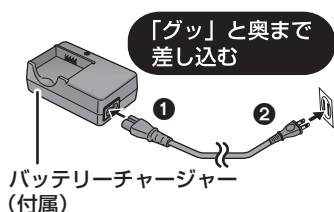
■ SD カードの書き込み禁止スイッチについて

- SD カード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

❷ バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

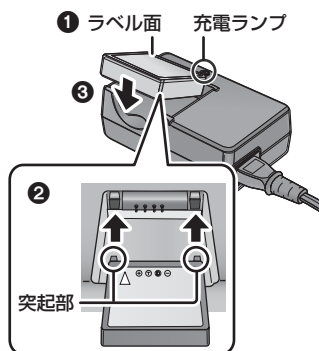
■ バッテリーチャージャーを使って充電する

1

バッテリーチャージャーを電源コンセントにつなぐ

❶ バッテリーチャージャーと電源コードをつなぐ

❷ 電源コンセントに差す

電源コードは本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

2

バッテリーチャージャーにバッテリーを取り付ける

❶ バッテリーのラベル面を上にする

❷ バッテリーの突起部をバッテリーチャージャーの穴に挿入して

❸「カチッ」と音がするまで矢印の方向に押し込む

充電ランプが点灯し、充電が始まります。
消灯すると充電完了です。

■ バッテリーチャージャーの充電ランプが点滅したときは

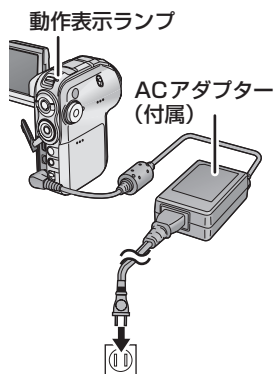
- バッテリーが過放電（極端に放電した状態）しています。しばらくすると点灯し、通常の充電になります。
- バッテリーの温度が高過ぎる、あるいは低過ぎます。充電時間が通常よりも長くなります。

準備する

② バッテリーを充電する（つづき）

■ 本機にバッテリーを入れたまま充電する

本機の電源を切った状態で、AC アダプターまたはカーアダプターを使ってバッテリーを充電できます。

- 充電中は本機の動作表示ランプが約 2 秒間隔で赤色点滅し、充電が始まります。
  消灯すると充電完了です。
- 動作表示ランプの点滅速度が速いとき、または遅いときは 120 ページをお読みください。
- 電源コンセントまたは自動車につないで使う方法は 18 ページをお読みください。

■ 充電時間と撮影可能時間（2005 年 10 月現在）

下表は常温（温度 25 ℃ / 湿度 60%）での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、めやすにしてください。

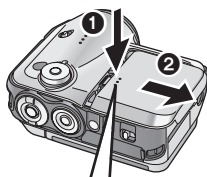
- 間欠撮影可能時間とは、撮影 / 停止などを繰り返したときに撮影できる時間です。実際はこれより短くなることがあります。

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間	連続撮影可能時間	間欠撮影可能時間
付属バッテリー / VW-VBE10（別売）	7.4 V/ 760 mAh	約 1 時間 30 分	約 1 時間 20 分	約 45 分

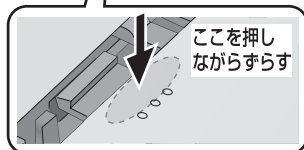
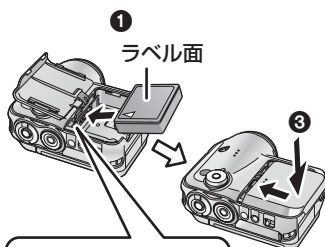
- パワー LCD ボタンを押して、液晶モニターの画面を明るくして使用しているときは、撮影可能時間が短くなります。
- 充電後はバッテリーが温かくなります。また充電中はバッテリーチャージャーや本機などが温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーの残量が少なくなるにつれ、
  → → → →
  と表示が変わります。容量がなくなると、（ ）が点滅します。

③ バッテリーを入れる（取り出す）

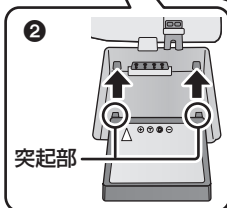
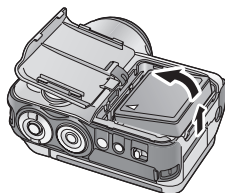
1

バッテリーカバーを外す

❶ バッテリーカバーを押しながら

❷ 矢印の方向にずらす

2

バッテリーを入れる

❶ バッテリーのラベル面を上にする

❷ バッテリーの突起部を本体の穴に挿入する

❸ バッテリーカバーを元どおりに付ける

【バッテリーを取り出すには】

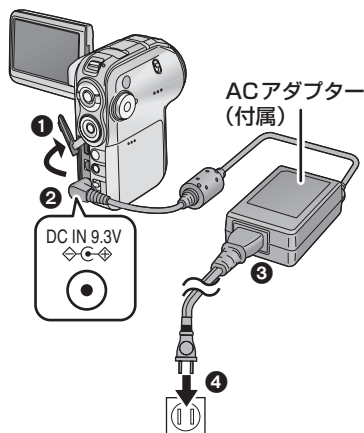
バッテリーカバーを外してバッテリーを取り出す

- 外したあとは、バッテリーカバーを元どおり付けてください。

- 予備のバッテリーを携帯、保管するときは、バッテリーケース（付属）に入れてください。

準備する

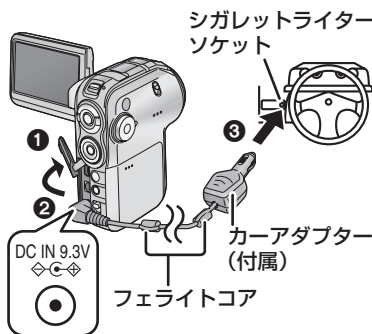
④ 電源コンセントにつないで使う

AC アダプターを使って、本機と電源コンセントをつなぐと、電源コンセントから電源を供給しながら本機を使用できます。(電源を入れているときはバッテリーは充電されません)

本機と AC アダプターを接続し、電源コンセントにつなぐ

❶ 本機の端子カバーを開ける
❷ 本機の DC 入力端子 [DC IN 9.3V] に AC アダプターをつなぐ
❸ AC アダプターと電源コードをつなぐ
❹ 電源コンセントに差す

電源コードは本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

⑤ 自動車の中で使う

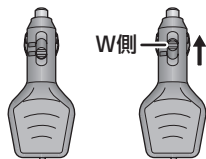
自動車の中でお使いになる場合、運転中の方は操作しないでください。
カーアダプターを使って、本機と自動車のシガレットライターソケットをつなぐと、自動車から電源を供給しながら本機を使用できます。(電源を入れているときはバッテリーは充電されません)

◇自動車のエンジンをかけておく

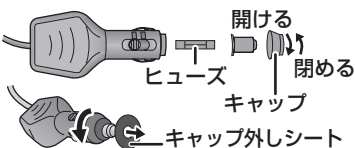
- エンジンをかける前にカーアダプターをつなぐと、ヒューズが切れる恐れがあります。

本機とカーアダプターを接続し、自動車のシガレットライターソケットにつなぐ

❶ 本機の端子カバーを開ける
❷ 本機の DC 入力端子 [DC IN 9.3V] に カーアダプターをつなぐ
❸ カーアダプターをシガレットライターソケットに差す

■ カーアダプタープラグについて

車によっては（特にヨーロッパ車の場合）、シガレットライターソケットの穴の部分が大きく、プラグとの接触がうまくいかない場合があります。このときは、プラグ先端の調整部分を「W」側に合わせてください。

■ ヒューズを交換するときは

右図のようにプラグの先端を外し、新しいヒューズ（2A/125V：品番 E-AA2058-002（サービスルート扱い））に交換してください。キャップを開けるときは、付属のキャップ外しシートにプラグの先端を差しこみ、キャップ外しシートでキャップを挟んで回してください。

- 付属のカーアダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。
- 付属のカーアダプターは DC 12 V ⊖ アース車専用です。
- 自動車のシガレットライターを抜き、内部を掃除してからご使用ください。
- 自動車のバッテリーの消耗を避けるため、エンジン停止時や本機を使用しないときは、カーアダプターをシガレットライターソケットから抜いてください。本機の電源を切っていても、バッテリー装着時は充電を開始して電力を消費します。
- カーアダプターをお使いの場合は、フェライトコアを動かしたり、取り外したりしないでください。本機とカーアダプターを接続したときにノイズが発生します。
- 使用後はバッテリーが温かくなります。使用中は本機や SD カードも温かくなりますが、異常ではありません。
- カーアダプターを使って自動車の中から屋外を撮影すると、色合いが自然にならない場合がありますので、白バランスを屋外モード「☼」に設定して撮影することをおすすめします。（P48）

❻ 電源を入れる（切る）

電源を入れる

電源スイッチを［ON］にする

動作表示ランプが赤色点灯し、ビデオ撮影モード、写真撮影モードの場合は（P21）、レンズカバーが開きます。

電源を切る

電源スイッチを［OFF］にする

動作表示ランプが消灯し、レンズカバーが閉じます。

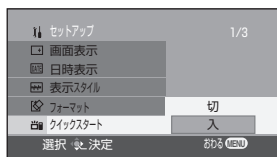
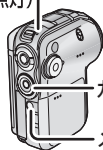
- ビデオ撮影モード、写真撮影モードの場合は（P21）、液晶モニターを閉じると電源が切れます。

⑥ 電源を入れる（切る）（つづき）

■ 素早く撮影を始めるには（クイックスタート）

クイックスタートを設定してから、電源スイッチを［ON］にしたままで液晶モニターを閉じておくと、次に液晶モニターを開いたとき、約 1.5 秒で撮影の準備状態になります。少しの間だけ撮影を中断するときなどにお使いください。

- ビデオ撮影モード/写真撮影モードでSDカードが入っているときに使用できます。

【クイックスタートを設定するには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「 セットアップ」→「 クイックスタート」を選び、「入」に設定する（P27）

液晶モニターを閉じるとクイックスタートの待機状態になります。

- 動作表示ランプが緑色点灯します。
- レンズカバーは閉じません。

クイックスタートを設定すると

液晶モニターを開くと撮影の準備状態になります。

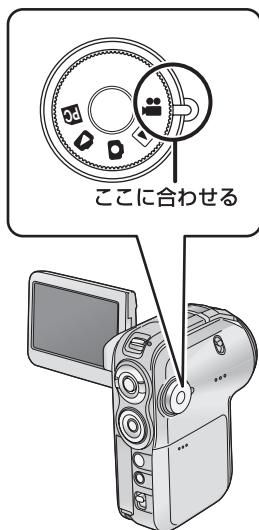
- 動作表示ランプが赤色点灯します。

【クイックスタートを解除するには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「 セットアップ」→「 クイックスタート」→「切」に設定する（P27）

- クイックスタートの待機状態を解除するには、電源を切ってください。
- クイックスタートの待機状態で 5 分以上経過すると、クイックスタートは解除されます。この場合、クイックスタートはしませんが、通常の速度で撮影の準備状態になります。
- モードダイヤルをビデオ撮影モード、写真撮影モード以外に切り換えると、クイックスタートの待機状態は解除されます。
- クイックスタートの待機状態では、通常撮影時の約半分の電力を消費するため、撮影できる時間が短くなります。
- クイックスタートを設定しない場合は、起動時間は遅くなりますが、液晶モニターを閉じたときの消費電力を下げることができます。
- クイックスタートの待機状態から液晶モニターを開けた場合、ズーム倍率は約 1 倍の位置になるため、待機する前と比べて画像の大きさが変わることがあります。
- 白バランスがオートモードの状態でクイックスタートすると、最後に撮影した場面と光源が違う場合、白バランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。（ただし、カラーナイトビュー使用時は、最後に撮影したときの白バランスが保持されます）

⑦ モードを選ぶ

本機には撮影、再生を切り換えるモードダイヤルがあります。
モードダイヤルはゆっくり確実に回してください。

モードダイヤルを回して、図の位置に希望のモードを合わせる

ビデオ撮影モード（P35）

ビデオ（動画：MPEG2 形式）を撮影します。
パソコンと接続しているときは Web カメラとして使用できます。

ビデオ再生モード（P59）

本機で撮影したビデオを再生します。

写真撮影モード（P52）

写真（静止画：JPEG 形式）を撮影します。
パソコンと接続しているときは Web カメラとして使用できます。

写真再生モード（P62）

本機で撮影した写真を再生します。

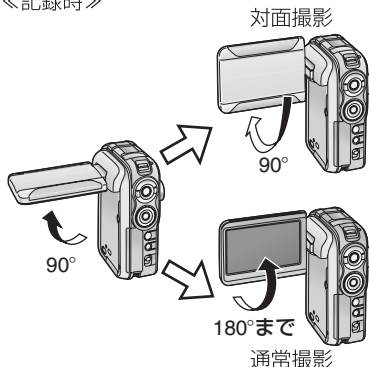
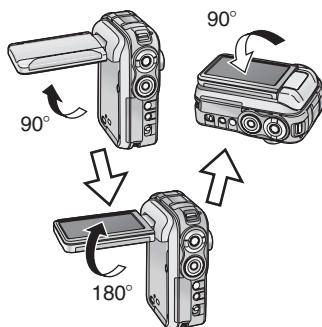
PC 接続モード（P75）

MotionSD STUDIO（付属の CD-ROM からインストールできます）を使って、SD カードに記録したシーンをパソコンで見たり、取り込んだりするときに使います。

準備する

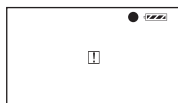
⑧ 液晶モニターを使う

角度を調整する

≪記録時≫

[ビューワースタイル]
≪再生時≫

上記の角度以上回すと、故障につながります。

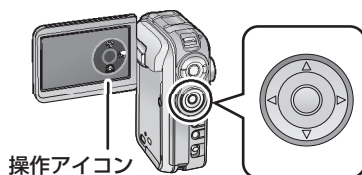
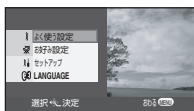
■ 対面撮影について

液晶モニターを対面撮影方向に回転させると、液晶モニターを見ながら自分自身を撮ったり、撮影する相手に内容を見せながら撮れるため便利です。

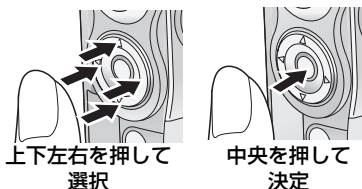
- 対面撮影時は、液晶モニターに映る画像が鏡のように左右反転します。
  また、画面表示は一部だけになります。[!] が表示されたときは、液晶モニターを通常撮影方向に回転させて、警告表示内容を確認してください。(P96)

- 対面撮影時は、ワンタッチナビゲーション（右ページ）で操作アイコンを表示させての操作はできません。

- メニューで液晶モニターの明るさ、色の濃さを調整できます。(P31)
- 無理に開いたり回したりすると、本機に傷が付いたり故障する場合があります。
- カード扉が閉まっていることを確認してから、液晶モニターを確実に閉じてください。

⑨ カーソルキーの使いかた
ワンタッチナビゲーション

カーソルキーを使って、撮影機能の選択や再生操作などが片手で簡単に行えます。
画面を見ながらお使いください。

メニュー画面

カーソルキーを使って、表示される操作アイコンやメニュー画面を操作する

カーソルキーの基本操作

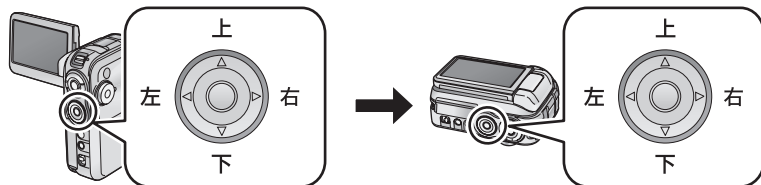
上下左右を押して選択

中央を押して決定

カーソルキーの上下左右を押して項目やシーンを選択し、中央を押して決定する

- メニュー画面の操作について（P27）
- 再生シーンの選択について（P59、62）

ビューワースタイルの場合

液晶モニターを裏返してたたむと、カーソルキーの上下左右が図のように変わります。

準備する

⑨ カーソルキーの使いかた（つづき）

撮影機能を使う
◇モードダイヤルが 🎥 または 📷 の場合

1

操作アイコン

カーソルキーの中央を押す

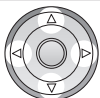
液晶モニターに操作アイコンが表示されます。操作アイコン表示中は中央にあるボタンのまわりが青く光ります。

- 押すごとに表示が切り換わります。

2

カーソルキーの上下左右を押して選ぶ

再生する
◇モードダイヤルが ▶ または ▶ の場合

1

カーソルキーの上下左右で再生するシーンを選び、中央を押して決定する

全画面表示になり、操作アイコンが自動的に表示されます。

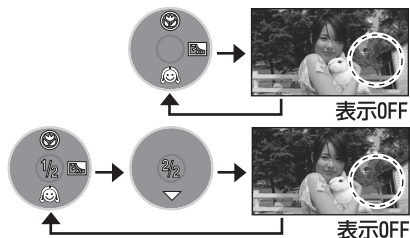
2

カーソルキーの上下左右を押して操作する

表示される操作アイコンについて

操作アイコンの表示中、カーソルキーの中央を押すごとに下記のように表示が切り換わります。

ビデオ撮影モード

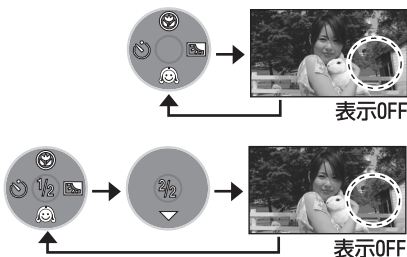
（オート / マニュアル切換えスイッチがオート［AUTO］の場合）

（マニュアル［MANUAL］の場合）

ビデオ再生モード

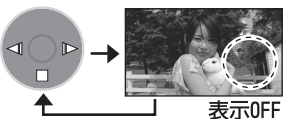
- 再生中でも切り換えられます。

写真撮影モード

（オート / マニュアル切換えスイッチがオート［AUTO］の場合）

（マニュアル［MANUAL］の場合）

写真再生モード

- 再生中でも切り換えられます。

（「1 枚再生」の場合）

（「スライドショー」の場合）

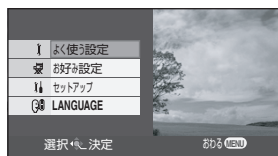
⑨ カーソルキーの使いかた（つづき）

モードごとの操作アイコン一覧表

モード	アイコン			方向	機能
ビデオ撮影モード	ー（1/2）			上	テレマクロ機能（P39）
				下	美肌モード（P40）
				右	逆光補正（P40）
	（2/2）	（マニュアル［MANUAL］時のみ）		上	白バランスセットモード（P49）（白バランスセットモード時のみ）
			▼	下	白バランス設定（P48）
					シャッター速度（P50）
					明るさ（絞り・ゲイン）（P50）
			−＋	左右	白バランス設定の選択やマニュアル調整（P47、48、50）
ビデオ再生モード	ー		▶/II	上	再生 / 一時停止（P59）
			■	下	停止してサムネイル表示（P59）
			I◀◀	左	早戻し、スキップ（再生中）（P59）
			◀II		逆スロー、逆コマ送り（一時停止中）（P60）
			▶▶I	右	早送り、スキップ（再生中）（P59）
			II▶		スロー、コマ送り（一時停止中）（P60）
写真撮影モード	ー（1/2）			上	テレマクロ機能（P39）
				下	美肌モード（P40）
				左	セルフタイマー（P58）
				右	逆光補正（P40）
	（2/2）	ビデオ撮影モードの（2/2）と同じ			
写真再生モード	ー		▶/II	上	スライドショーの開始/一時停止（P62）（スライドショー設定時のみ）
			■	下	停止してサムネイル表示（P62）
			◀I	左	前の画面を表示（P62）
			I▶	右	次の画面を表示（P62）

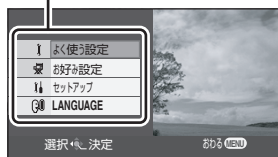
⑩ メニューを設定する

各メニューについては「メニュー一覧」をお読みください。（P91）

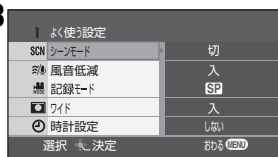
1

メニューボタンを押す

メニュー設定画面が表示されます。
（モードダイヤルの位置によって、表示されるメニューは変わります）

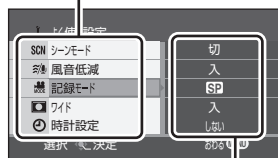
- メニュー表示中は操作モードを切り換えないでください。
- 撮影中や再生中にメニューは表示されません。また、メニュー表示中に撮影や再生はできません。

2

カーソルキーの上下を押してトップメニューを選ぶ

3

または

カーソルキーの右を押す、または 中央を押す

4

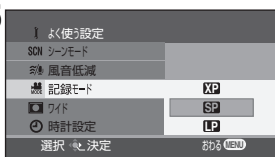
サブメニュー

各メニューの現在の設定

カーソルキーの上下を押してサブメニューを選ぶ

準備する

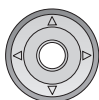
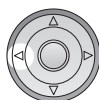
⑩ メニューを設定する（つづき）

5

または

カーソルキーの右を押す、
または
中央を押す

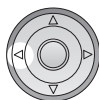
6

カーソルキーの上下を押して項目を選ぶ

7

または

カーソルキーの中央を押して決定する、
または
左を押して前の画面に戻る

【メニューの設定を終了するには】

メニューボタンを押す

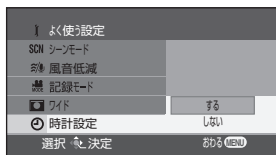
【前の画面に戻るには】

カーソルキーの左を押す

- 「ワイド」（P42）、「記録画素数」（P54）、「接続するテレビ」（P73）の設定を変更すると、画面サイズが切り換わります。（「記録画素数」は、「HDTV」からの変更、もしくは「HDTV」への変更時に切り換わります）

⑪ 時計設定

画面に表示される年月日 / 時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

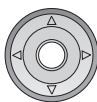
◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

メニューボタンを押し、カーソルキーで「 よく使う設定」→「 時計設定」→「する」に設定する**（P27）**

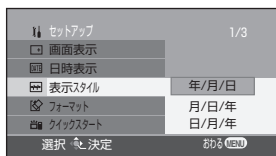
2

カーソルキーの左右を押して合わせる項目（年 / 月 / 日 / 時 / 分）を選び、上下を押して数字を合わせる

- 年は 2000 → 2001 → … → 2099 → 2000 と変わります。
- 時間は「表示スタイル」を「年 / 月 / 日」、「日 / 月 / 年」に設定しているときは 24 時間表示で、「月 / 日 / 年」に設定しているときは 12 時間表示です。

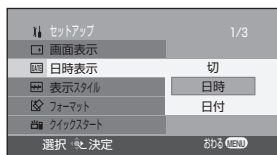
3

中央を押して決定する

- メニューボタンを押して設定を終了したあと、日時表示を確認してください。
- 秒は 0 から始まります。

【表示スタイルを切り換えるには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「 セットアップ」→「 表示スタイル」を選び、希望の表示に設定する**（P27）**

表示スタイル	画面表示
年 / 月 / 日	15:42 2005.12.15
月 / 日 / 年	3:42 PM DEC 15 2005
日 / 月 / 年	15:42 15.12.2005

⑪ 時計設定（つづき）

【年月日・時刻の表示を切り換えるには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「セットアップ」→「日時表示」を選び、希望の表示に設定する（P27）

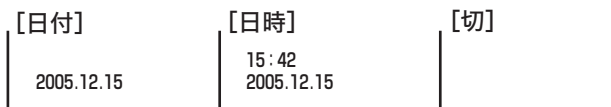
- ワイヤレスリモコンの年月日 / 時刻ボタン［DATE/TIME］を押しても表示を切り換えられます。

［日付］

2005.12.15

［日時］

15：42
2005.12.15

［切］

■ 時計設定について

- 時計設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。
- 内蔵時計は誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 電源を入れたときに、「」あるいは「−−」表示が出るときは、内蔵日付用電池が消耗しています。下記の方法で充電したあと、時計を設定してください。

■ 内蔵日付用電池を充電する

- 本機に AC アダプターまたはカーアダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約 24 時間そのままにしておくと、約 6ヵ月間時計設定を記憶することができます。（電源が切れていても充電はされています）

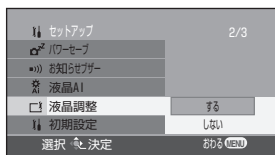
⑫ 言語設定

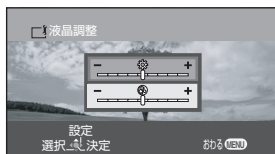
画面に表示される言語を変更できます。

メニューボタンを押し、カーソルキーで「LANGUAGE（ランゲージ）」→「日本語」または「English」（英語）に設定する（P27）

⑬ 液晶モニターを調整する

液晶モニターの明るさや色の濃さを調整する

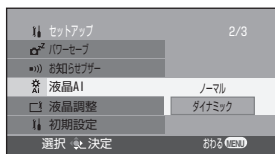
1

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「セットアップ」→「液晶調整」→「する」
に設定する（P27）

2

調整する項目をカーソルキーの上下を押して選択し、左右を押して調整する

バー表示が移動します。

・ ✲：液晶モニターの明るさ
・ ❀：液晶モニターの色の濃さ

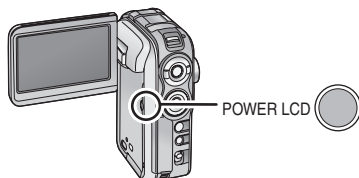
● 調整内容は、実際に記録される映像には影響しません。

【液晶モニターの画質を変更するには（液晶 AI）】

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「セットアップ」→「液晶 AI」→「ダイナミック」または「ノーマル」に設定する（P27）

・ **ダイナミック：**
明暗がはっきりした、メリハリのある液晶画質になります。
・ **ノーマル：**
標準の液晶画質になります。

● 「ダイナミック」に設定すると、液晶モニターが撮影シーンに応じて最適なコントラスト･明るさに設定されます。輝き感のある、引き締まった映像を表示します。
● 効果は撮影シーンによって異なります。
● 液晶モニターが明るくなっているとき（「 」が表示されている）は、自動的に「ダイナミック」の効果になり、設定は変更できません。
● 実際に記録される映像には影響しません。

⑬ 液晶モニターを調整する（つづき）

【液晶モニター全体を明るくするには】

パワー LCD ボタンを押す

「[icon]」が液晶モニターに表示されます。

- 液晶モニターが通常より約 2 倍明るくなり、見やすくなります。
- LCD ＝液晶モニター(Liquid（リキッド） Crystal（クリスタル） Display（ディスプレイ）) のことです。

- 再度押すと「[icon]」が消え、元に戻ります。
- 実際に記録される映像には影響しません。
- AC アダプターまたはカーアダプター使用時は、電源を入れると自動的に「[icon]」が表示され、画面が明るくなります。

① 撮影前の確認

他の機器でお使いになった SD カードを本機ではじめてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。（P67）フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータ（シーン）は消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。本機で記録した映像をパソコンに取り込むときは、必ず MotionSD STUDIO をお使いください。（P75）

テレビによっては本機から出力される映像の周囲（点線より外の部分）が映らないことがありますので、あらかじめ、撮りたいものの周囲を広めに撮影しておくことをおすすめします。

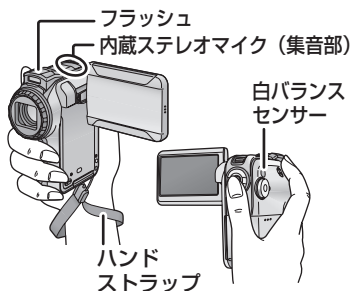
16:9画面

4:3画面

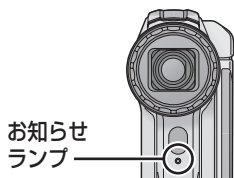
お買い上げ時、本機はワイドテレビの画面比率（16：9）に対応した、ワイドモードに設定されています。
ノーマルテレビの画面比率（4：3）に対応させるには、撮影前にワイドモードの設定を変更するか（P42）、テレビにつないで見るときに設定を変更してください。（P73）

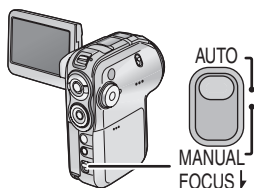
■ 基本的な構えかた

- 液晶モニターを開いてください。
  液晶モニターを閉じた状態では撮影を開始できませんが、撮影中に液晶モニターを閉じても撮影を終わるまで電源は切れません。
- 撮りたいものに合わせて液晶モニターの角度を調整できます。
- 落下防止のため、ハンドストラップ（付属）を付けることをおすすめします。
- 白バランスセンサー部を指などでふさがないでください。

- レンズ、フラッシュ前面や内蔵ステレオマイク（集音部）に指がかからないようにしてください。

① 撮影前の確認（つづき）

■ お知らせランプについて

リモコン受信時やセルフタイマー動作時に点滅します。
「お好み設定」の「撮影ランプ」を「入」にすると、撮影時にお知らせランプが点灯するようになりますので、三脚に取り付けたときや、リモコン使用時に、撮影中であることを確認することができます。

■ オートモードについて

- オート / マニュアル切換えスイッチ [AUTO/MANUAL/FOCUS] をオート [AUTO] にすると、自動で色合い（白バランス）やピント（フォーカス）が合います。
  （画面に「AUTO」表示が出ます）
  - ・オートホワイトバランス：P106
  - ・オートフォーカス　　　：P106

■ 撮影場面に合わせた設定例

以下の設定はあくまでめやすです。光源や照明、天候、被写体の色や動きによってはうまく撮れないことがあります。
大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、ためしておきましょう。

1 体育館

白バランス：（セットモード）

2 披露宴、舞台、発表会

白バランス：場面ごとに設定

- スポットライトが当たっている場所では、シーンモードを「（スポットライト）」にすることをおすすめします。

3 夜景、花火

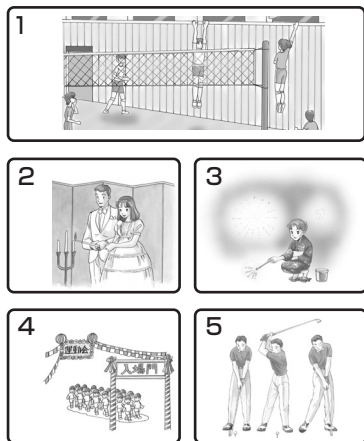
白バランス：（屋外モード）
フォーカス：マニュアル

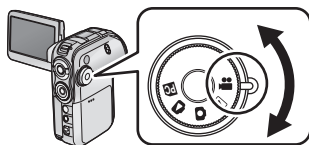
4 運動会

白バランス：オート / フォーカス：マニュアル

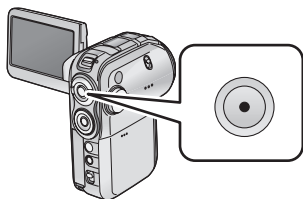
- 近距離でお子様の動きが速い場合は、オートフォーカスではピントが合わなくなる場合があります。

5 動きの速いシーン（ゴルフのフォームなど）

シーンモード：（スポーツ）/ 白バランス：オート / フォーカス：マニュアル

② ビデオ撮影（MPEG2 動画）

SD カードにビデオを記録します。

モードダイヤルを 🎥 に合わせる

レンズカバーが自動的に開きます。

2

撮影ボタンを押して撮影を始める

- 撮影中に液晶モニターを閉じても撮影は続きます。

【撮影を終わるには】

撮影ボタンをもう 1 度押す

- 「●」「❚❚」が赤色表示のときは記録中ですので、「❚❚」が緑色表示になるまでは本機を動かさないでください。

- 液晶モニターを閉じているときは撮影が終わると自動的に電源が切れます。クイックスタート設定時 (P20) は、クイックスタートの待機状態になります。

■ ビデオ撮影モード時の画面表示について

1 **ビデオ撮影の経過時間**

2 **ビデオの記録画質**

3 **ビデオの残り撮影可能時間**
（SD カード容量の残量が 1 分未満で、「残 0h00m」が赤色点滅となります）

撮影する

② ビデオ撮影（MPEG2 動画）（つづき）

【ビデオの記録画質を切り換えるには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「よく使う設定」→「記録モード」を選び、希望の画質に設定する（P27）

- XP 高画質：
  高画質で撮影することができます。
- SP 標準：
  標準の画質で撮影することができます。
- LP 長時間：
  より長時間撮影することができます。

■ 使用可能な SD カードについて

ビデオ撮影には、下記の当社製 SD メモリーカードのご使用をおすすめします。（2005 年 10 月現在）

SD カードの容量	Pro High Speed SD メモリーカード	Super High Speed SD メモリーカード	High Speed SD メモリーカード
256 MB	—	RP-SDH256	—
512 MB	RP-SDK512	RP-SDH512 ※	—
1 GB	RP-SDK01G	RP-SDH01G ※	RP-SDQ01G
2 GB	RP-SDK02G	—	付属の SD カード / RP-SDQ02G

※生産完了品

- 32 MB ～ 2 GB までの SD カードで、上記以外の SD カードでは、ビデオ撮影の動作保証はしておりません。（ビデオ撮影中に突然記録が停止することがあります）

ビデオ撮影に使用可能な SD カードについての最新情報は、以下の Web サイトをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/video

当社製 SD メモリーカード 1 枚あたりの記録時間のめやす

SD カードの容量	XP（高画質）	SP（標準）	LP（長時間）
256 MB	約　3 分	約　6 分	約 12 分
512 MB	約　6 分	約 12 分	約 25 分
1 GB	約 12 分	約 25 分	約 50 分
2 GB	約 25 分	約 50 分	約 1 時間 40 分

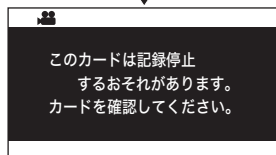
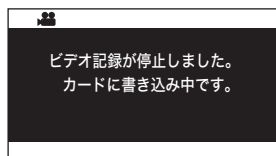
本機は VBR 記録方式を採用しております。VBR とは Variable（バリアブル） Bit（ビット） Rate（レート）（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間あたりのデータ量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合は、記録時間は短くなります。

■ ビデオ撮影中に突然記録が停止した場合

データの書き込みを繰り返して、データ書き込み速度の低下した SD カードを使うと、ビデオ撮影中に突然記録が停止することがあります。
このとき、右記のメッセージが表示されます。

ビデオ記録が停止しました。
カードに書き込み中です。

↓

このカードは記録停止
するおそれがあります。
カードを確認してください。

ビデオ撮影に使用可能な SD カード（左ページ）をお使いの場合

このようなメッセージが表示されるときは、使用している SD カードをフォーマットすることをおすすめします。(P67) フォーマットすると、SD カードに撮影されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンに保存しておいてください。（P82）（本機で撮影したデータを取り込むときは、必ず MotionSD STUDIO（P75）をお使いください）

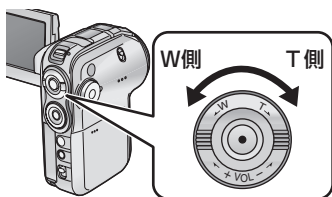
上記以外のカードをお使いの場合

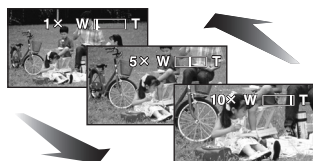
ビデオを撮影するときは、ビデオ撮影に使用可能な SD カード（左ページ）をお使いください。

- **バッテリーを使って撮影できる時間について（P16）**
- 8 MBおよび16 MBのSDカードではビデオ撮影できません。
- SDカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは記録できません。（P14）
- 1枚のSDカードで記録や削除を繰り返すと、SD カードに容量が残っていてもビデオ撮影できなくなる場合があります。この場合、パソコンにデータを保存したあと SD カードをフォーマットしてください。
- 音声はステレオで記録されます。
- 撮影を開始してから停止するまでを1シーンとして SD カードに記録します。停止後に再度記録すると、別シーンとして記録します。
- ビデオ撮影中にバッテリー、AC アダプターまたはカーアダプターを外したり、カード動作中ランプ［ACCESS］点灯中に SD カードを抜かないでください。このような操作をした場合、次にその SD カードを入れたり、電源を入れ直したときに、シーンの修復メッセージが表示されますので、必ず修復を行ってください。（P98）
- 以下のような撮影条件では、再生画面にブロック状のノイズが出る場合があります。
  - ・背景に複雑な絵柄がある場合
  - ・本機を大きくまたは速く動かした場合
  - ・動きの激しい被写体を撮影した場合（特に「記録モード」を長時間「LP」に設定しての撮影時）

❸ ズーム
ズームレバーを動かして倍率を調整する

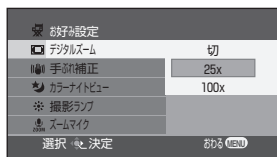
遠くの人や物を大きく撮ったり、景色などを広角に撮ることができます。光学で最大 10 倍まで拡大できます。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

ズームレバーを動かす

・ T 側 ：大きく撮る（ズームイン）
・ W 側：広く（広角に）撮る（ズームアウト）

● 本機を手に持って拡大して撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。（P43）
● 被写体を大きくしているときは、約 1 m 以上でピントが合います。
● ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。
● ズーム倍率が 1 倍では、レンズから約 4 cm まで近付いて撮ることができます。（マクロ機能）
● ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。

【さらに大きく撮る（デジタルズーム）には】

ズーム倍率が 10 倍より大きくなると、デジタルズームになります。デジタルズームの倍率の最大値を切り換えられます。

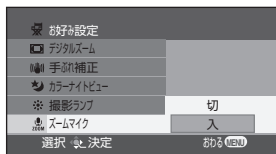
◇モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニューボタンを押し、カーソルキーで「お好み設定」→「デジタルズーム」を選び、希望の倍率に設定する**（P27）**

・ **切** ：光学ズームのみ（最大10 倍まで）
・ **25×** ：最大 25 倍まで
・ **100×**：最大 100 倍まで

● 拡大するほど画質は悪くなります。
● 写真撮影モードでは使えません。

■ ズームマイク機能について

ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周りの音をよりクリアに収録します。

◇モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニューボタンを押し、カーソルキーで「お好み設定」→「ズームマイク」→「入」に設定する（P27）

④ テレマクロ機能

撮りたいものにだけピントを合わせて、クローズアップする

被写体のみにピントを合わせ、背景をぼかすことで、より印象的な映像にします。約 50 cm まで近付いて撮影できます。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

カーソルキーの中央を押して、図のアイコンを出す

2

カーソルキーの上を押して、テレマクロアイコン「 」を選ぶ

「 」アイコンがオレンジ色に点滅したあと白色点灯します。

- ズーム倍率が 10 倍以下のときは、自動的に 10 倍になります。

【テレマクロ機能を解除するには】

もう一度、テレマクロアイコンを選ぶ

- ピントが合いにくいときは、マニュアルで調整してください。（P47）
- ズーム倍率を 10 倍未満にすると、自動的に解除されます。
- 電源を切ったり、モードダイヤルをビデオ撮影モード、写真撮影モード以外にすると解除されます。

⑤ 美肌モード

肌の色をソフトに見せ、よりきれいに映す

人物の胸から上を大きく撮る場合に効果的です。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

カーソルキーの中央を押して、図のアイコンを出す

2

カーソルキーの下を押して、美肌アイコン「☺」を選ぶ

「☺」アイコンがオレンジ色に点滅したあと白色点灯します。

【美肌モードを解除するには】
もう一度、美肌アイコンを選ぶ

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

⑥ 逆光補正

逆光で人物などが暗くなるのを防ぐ

被写体に後ろ側から光が当たり、暗く映るときにお使いください。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

カーソルキーの中央を押して、図のアイコンを出す

2

カーソルキーの右を押して、逆光補正アイコン「」を選ぶ

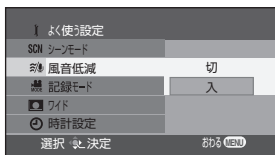
「」アイコンがオレンジ色に点滅したあと白色点灯します。
画面の映像が明るくなります。

【逆光補正を解除するには】
もう一度、逆光補正アイコンを選ぶ

- 電源を切ったり、モードダイヤルをビデオ撮影モード、写真撮影モード以外にすると解除されます。

⑦ 風音低減

内蔵ステレオマイクに当たる風の音を低減する

◇モードダイヤルを に合わせる

メニューボタンを押し、カーソルキーで「 よく使う設定」→「 風音低減」→「入」に設定する(P27)

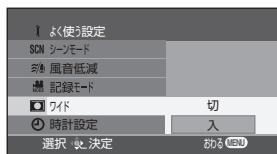
【風音低減を解除するには】
メニューボタンを押し、カーソルキーで「 よく使う設定」→「 風音低減」→「切」に設定する（P27）

- 初期設定は「入」です。
- 風の強さに応じて、マイクの風音ノイズを低減します。(強風下でご使用の場合は、ステレオ感がなくなることがありますが、風が弱くなると自動的に元のステレオ感のある音質に戻ります)

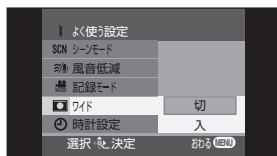
⑧ ワイドモード
撮影するビデオの画面比率を切り換える

ワイドテレビの画面（16：9）とノーマルテレビの画面（4：3）それぞれの比率に対応した映像を撮影できます。

■ 16:9 で撮影する

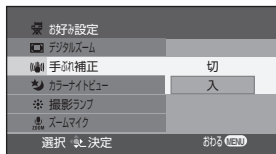
◇モードダイヤルを に合わせる

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「 よく使う設定」→
「 ワイド」→「入」に設定する（P27）

■ 4:3 で撮影する

◇モードダイヤルを に合わせる

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「 よく使う設定」→
「 ワイド」→「切」に設定する（P27）

⑨ 手ぶれ補正
ぶれを少なくして撮る

撮影時に起こる手ぶれによる映像の揺れを軽減します。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「お好み設定」→
「手ぶれ補正」→「入」
に設定する（P27）

【手ぶれ補正を解除するには】

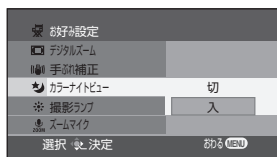
メニューボタンを押し、カーソルキーで「お好み設定」→「手ぶれ補正」→「切」に設定する（P27）

- 写真撮影時は、撮影ボタンを半押しすると、手ぶれ補正の効果が高くなります。（MEGA OIS）
- 三脚使用時は、手ぶれ補正を使わないことをおすすめします。
- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら撮影した場合、補正できないことがあります。
- 以下の場合は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・デジタルズーム使用時
  - ・コンバージョンレンズ使用時

撮影する

⑩ カラーナイトビュー
暗い場所で撮る

暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。
三脚に取り付けて使うと、ぶれの少ない映像が撮れます。
- 撮影した映像はコマ落としのようになります。

◇モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニューボタンを押し、カーソルキーで「お好み設定」→「カラーナイトビュー」→「入」に設定する（P27）

設定後、メニュー設定画面を終わるとマニュアルフォーカスモードになります。カーソルキーの左右を押して、手動でピントを合わせてください。（P47）
- 以下の場合は、カーソルキーの中央を２回押して、マニュアル調整の操作アイコンを表示させてから、ピントを合わせてください。
  - ・カラーナイトビューが「入」の状態で再度、メニュー画面でカラーナイトビューを「入」に設定した場合は
  - ・カラーナイトビューが「入」の状態でモードを切り換えたとき

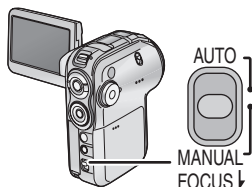
【カラーナイトビューを解除するには】
メニューボタンを押し、カーソルキーで「お好み設定」→
「カラーナイトビュー」→「切」に設定する（P27）

- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。
- カラーナイトビューは、CCD の信号蓄積時間を最大で通常の約 30 倍にすることにより、通常では見えない暗い場面もカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 電源を切ると解除されます。

⑪ シーンモード
いろいろな場面で撮る

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をマニュアル［MANUAL］にする

2

メニューボタンを押し、カーソルキーで「よく使う設定」→「SCN シーンモード」を選び、希望の設定にする（P27）

表示	モード	撮影条件
(アイコン)	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
(アイコン)	ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
(アイコン)	ローライト	夕暮れなど、暗い場面で明るく
(アイコン)	スポットライト	スポットライトが当たる人物をきれいに
(アイコン)	サーフ & スノー	海辺やスキー場など、まぶしい場面で

【元に戻すには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「よく使う設定」→「SCN シーンモード」→「切」に設定する（P27）

- オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をオート［AUTO］にしても元に戻せます。

撮影する

⑪ シーンモード（つづき）

スポーツモード

- 撮ったものをスロー再生や写真再生したときに、ぶれの少ない映像になります。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。
- 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、「 」が点滅します。
- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。

ポートレートモード

- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。このときはシーンモードを「切」にしてお使いください。

ローライトモード

- 極端に暗い場面ではきれいに撮れないことがあります。

スポットライトモード

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。

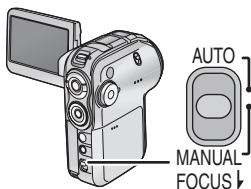
サーフ & スノーモード

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

⑫ マニュアルフォーカス設定
手動でピントを合わせる

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をマニュアル［MANUAL］にする

2

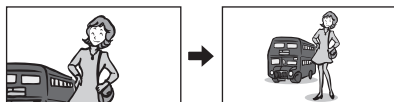
オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をフォーカス［FOCUS］の位置まで下に動かす

マニュアルフォーカス「▶MF」が表示されます。

3

カーソルキーの左右を押してピントを合わせる

- 広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。拡大して合わせると、広角にしてもピントが合います。

➡
【元に戻すには】

オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をもう一度フォーカス［FOCUS］の位置まで下に動かす

- オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をオート［AUTO］にしても元に戻せます。

⑬ 白バランス設定

自然な色合いにする

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をマニュアル［MANUAL］にする

図のアイコンが自動的に表示されます。

2

カーソルキーの下を押して、白バランスの表示（AWB など）を選ぶ

3

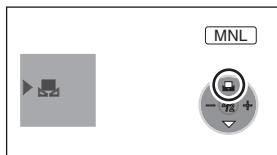
カーソルキーの左右を押して白バランスのモードを選ぶ

表示	モード	撮影条件
AWB	オート	
電球	屋内（白熱電球）	白熱電球、ハロゲンランプ
☼	屋外	屋外の晴天下
蛍光灯	蛍光灯	蛍光灯（当社のパルック蛍光灯など）
セット	セット	水銀灯、ナトリウムランプ、一部の蛍光灯 ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト 日没・日の出など

【元に戻すには】

白バランスのモードをオートモード「AWB」にする

- オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をオート［AUTO］にしても元に戻せます。

【手動で白バランスの設定をするには】

セットモード「 」を選び、画面いっぱいに白い被写体を映しながら、カーソルキーの上を押して、セットモードアイコン「 」を選ぶ

- 「 」表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。

■「 」表示の点滅について

セットモードを選んだとき

- 以前にセットモードで設定した内容が保持されていることを示しています。（再度設定するまで、その内容を記憶しています）

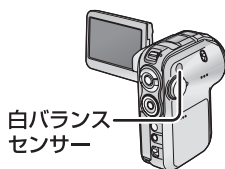
セットモードで設定できないとき

- 暗いところなどでは、セットモードでの設定がうまくできないことがあります。このときは、オートモードで撮ってください。

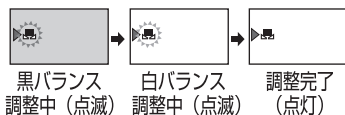
セットモードで設定中のとき

- セットモードで設定中は、「 」表示が点滅します。設定が完了したら、「 」表示が点灯に変わります。

■ 白バランスセンサーについて

撮影時に白バランスセンサーを手などでふさがないでください。白バランスが正常に働きません。

■ 黒バランスについて

3CCD システムの機能の 1 つで、白バランスをセットモードで設定したとき、自動的に黒の状態も合わせます。黒バランス調整時には、画面が一瞬黒くなります。（手動で黒バランスを調整することはできません）

黒バランス調整中（点滅）　白バランス調整中（点滅）　調整完了（点灯）

- 白バランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。
- 撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。
- カーアダプターを使って自動車の中から屋外を撮影すると、色合いが自然にならない場合がありますので、白バランスを屋外モード「 」に設定して撮影することをおすすめします。

⑭ シャッター速度 / 明るさ（絞り・ゲイン）調整

シャッター速度

動きの速いものを撮るときなどに調整してください。

絞り・ゲイン

暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

◇モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1

オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をマニュアル［MANUAL］にする

図のアイコンが自動的に表示されます。

2

カーソルキーの下を数回押して、シャッター速度の表示（1/60など）、または絞り・ゲインの表示（F2.0、0dB など）を選ぶ

3

カーソルキーの左右を押して調整する

❶ **シャッター速度：**
  🎥 1/60 ～ 1/8000
  📷 1/30 ～ 1/2000
  - 1/8000（1/2000）に近いほど、シャッター速度が速くなります。

❷ **絞り値：**
  CLOSE ～（F16 ～ F2.0）～ OPEN
  - 絞り値が OPEN に近いほど、明るくなります。

❸ **ゲイン値：0dB ～ 18dB**
  - 絞り値が「OPEN」にならないと、ゲイン値は調整できません。

【元に戻すには】

オート / マニュアル切換えスイッチ［AUTO/MANUAL/FOCUS］をオート［AUTO］にする

■ 動きの速いものを撮影し、あとで写真再生して見る場合

シャッター速度のめやす

- ゴルフやテニスのスイング撮影：1/500 ～ 1/2000
- バレーボールの試合の撮影　　：1/100 ～ 1/350
- ジェットコースター撮影　　　：1/500 ～ 1/1000

< シャッター速度について >

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- マニュアルでシャッター速度を速くすると、感度が低くなることにより、自動でゲイン値が上がり、画面にノイズが増えることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ているように撮れることがありますが、故障ではありません。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影すると、画面の色が変わったり、ちらついたりすることがあります。この場合、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

< 絞り・ゲインについて >

- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。
- シャッター速度と絞り・ゲインの両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、絞りゲインを設定してください。

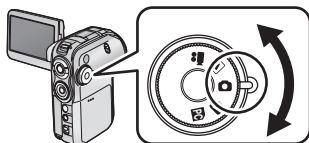
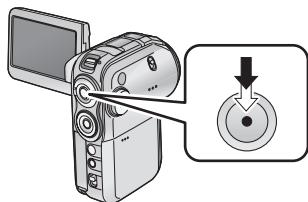
⑮ 写真撮影（JPEG 静止画）

SD カードへの記録枚数については 90 ページをお読みください。

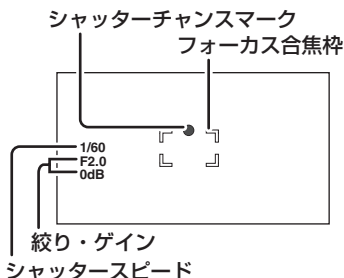
1

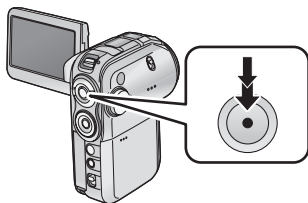
モードダイヤルを 📷 に合わせる

レンズカバーが自動的に開きます。

2

シャッターチャンスマーク
フォーカス合焦枠
1/60
F2.0
0dB
絞り・ゲイン
シャッタースピード

撮影ボタンを半押し（浅く押す）してピントを合わせる

（オートフォーカス時のみ）

シャッタースピードと絞り・ゲイン値が表示され、自動でピントを合わせます。

- 撮影ボタン半押し時のシャッターチャンスマークは、以下のように表示されます。
  - ・○（白点滅）：ピント合わせ中
  - ・●（緑点灯）：ピントが合ったとき（お知らせブザーが「ピピッ」と鳴ります）
  - ・マークなし　：ピントが合わなかったとき（お知らせブザーが「ピッピッピッピッ」と鳴ります）
- 手ぶれ補正（P43）を「入」に設定していると、手ぶれ補正の効果が高くなります。（「MEGA」（MEGA OIS）表示が出ます）
- 撮影ボタンを半押ししていないときのシャッターチャンスマークは、以下のように表示されます。撮影のめやすにしてください。
  - ・●（緑点灯）：
    ピントが合ったとき（フォーカスが安定して、よりきれいに撮れる状態）
  - ・○（白点灯）：
    ほぼピントが合ったとき（通常の写真印刷（6つ切り）では問題ない状態）

3

撮影ボタンを全押し（下まで押す）して撮影する

【写真をきれいに撮影するには】

- 4～10倍の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なぶれを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近付いて撮ることをおすすめします。
- 三脚・リモコンを使うと、手ぶれのない安定した映像を撮影することができます。

- 音声は記録できません。
- カード動作中ランプ点灯中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- カード動作中ランプ点灯中は、SD カードを抜き差ししないでください。
- SDカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは記録できません。(P14)
- 本機で記録 / 作成した写真を他機で再生すると、画質が悪くなったり、再生できない場合があります。
- 「写真画質」を「▃▲▃」に設定して撮影すると、シーンによってはモザイク状になることがあります。
- 「記録画素数」を「640」以外に設定すると、メガピクセル記録になります。

■ 写真撮影モード時の画面表示

1 **写真の画質**

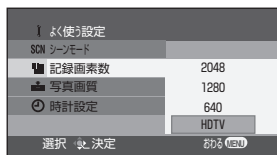
2 **写真の記録画素数**

3 **写真の残り撮影可能枚数**
（「残 0」で赤色点滅となります）

⑮ 写真撮影（JPEG 静止画）（つづき）

■ 写真の記録画素数・画質

記録画素数

記録するサイズを切り換えます。

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「 よく使う設定」→「 記録画素数」を選び、希望のサイズに設定する（P27）

- **2048**：2048×1512 画素
- **1280**：1280×960 画素
- **640** ：640×480 画素
- **HDTV**：1920×1080 画素（16:9 の比率で写真を記録します）

写真画質

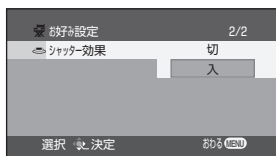
記録する画質を切り換えます。

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「 よく使う設定」→「 写真画質」を選び、希望の画質に設定する（P27）

- ：高画質な写真を記録します。
- ：記録枚数を優先し、標準画質で記録します。

- 本機はお買い上げ時、「記録画素数」を「HDTV」に設定しています。「HDTV」で撮影した写真は、プリント時に端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
  「トリミング」や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、「トリミング」または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください）

【シャッター効果音を入れて撮るには】

写真撮影時にシャッター音が出ます。

メニューボタンを押し、カーソルキーで「お好み設定」→「シャッター効果」→「入」に設定する（P27）

■ シャッターチャンスマークについて

- マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- 自動でピントが合いにくいときは、マニュアルで合わせてください。(P47)
- シャッターチャンスマークが出なくても撮影は可能です。ただし、ピントが合わずに記録される場合があります。
- 以下のような場合は、シャッターチャンスマークが表示されない、または表示されにくくなります。

  ・ズーム倍率が大きい
  ・手ぶれが大きい
  ・被写体が動いている
  ・逆光のとき
  ・遠近が共存している場面
  ・低照度で暗い場面
  ・明るい部分が入っている場面
  ・横線しかない場面
  ・コントラストが少ない場面

■ フォーカス合焦枠について

フォーカス合焦枠内で被写体の前後にコントラストの高いものがあると、被写体にピントが合わない（合焦しない）場合があります。そのときは、コントラストの高いものをフォーカス合焦枠から外してください。

コントラストの高いもの（柵など）にピントが合うので被写体がぼける。

フォーカス合焦枠

フォーカス合焦枠から外すとピントが合います。

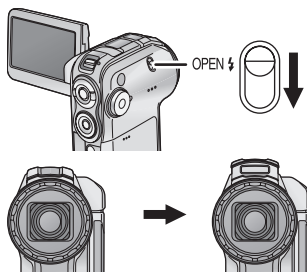
少し画面をずらす。

または

少しズームインするまたは被写体に近付く。

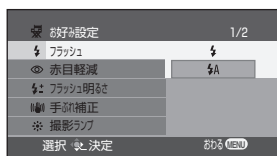
⑯ フラッシュ

暗い場所での写真撮影時にお使いください。

◇モードダイヤルを 📷 に合わせる

フラッシュレバー [OPENϟ] をスライドさせる

フラッシュが上がります。

- 撮影ボタンを押すと発光します。

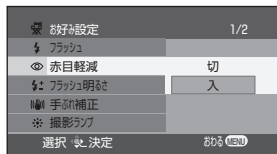
【フラッシュの発光を切り換えるには】

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「 お好み設定」→
「ϟ フラッシュ」を選び、希望の設定にする（P27）

・「ϟ」：強制発光
・「ϟA」：オート

- 「ϟA」に設定すると、自動で周りの明るさを感知し、フラッシュが必要だと判断したときに発光します。

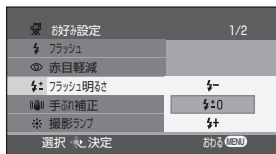
【フラッシュを使わないときは】

フラッシュをカチッと音がするまで指で押して閉じる

【フラッシュ発光時に人物の目が赤くなるのを軽減する（赤目軽減）には】

メニューボタンを押し、
カーソルキーで「 お好み設定」→
「👁 赤目軽減」→「入」に設定する（P27）

「👁」表示が出ます。

- 撮影状況によっては、目が赤く映る場合があります。

【フラッシュの明るさを調整するには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「お好み設定」→「フラッシュ明るさ」を選び、希望の設定にする（P27）

・ ⚡− ：明るさが強すぎるとき
（「⚡−」または「⚡A−」表示が出ます）
・ ⚡±0 ：通常の撮影時
（「⚡」または「⚡A」表示が出ます）
・ ⚡+ ：明るさが不十分なとき
（「⚡+」または「⚡A+」表示が出ます）

- 指などでフラッシュを押さえたり、フラッシュ発光部をふさがないでください。
- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じていても、周囲の明るさを感知し、フラッシュの発光が必要かどうかを自動判別します。（フラッシュが必要と判断したときは、「⚡」が黄色で点滅します）
- 「⚡」（「⚡+」、「⚡−」）、「⚡A」（「⚡A+」、「⚡A−」）が点灯すると発光します。点滅中または無表示の場合は、フラッシュは発光しません。
- フラッシュの使用可能範囲（めやす）は、暗い部屋で約 1 m ～ 2 m です。2 m 以上では暗く映ったり、画面が赤っぽくなる場合があります。
- フラッシュを「⚡A」に設定しているとき、シャッター速度や絞り / ゲインを調整すると、「⚡A」などの表示が消え、フラッシュが発光しない場合があります。
- フラッシュを発光させると、1/750 以上のシャッター速度は、1/500 に固定されます。
- 暗いところではピントが合わない場合がありますので、マニュアルで調整してください。（P47）
- 白っぽい背景の前でフラッシュを発光させると、被写体が暗く映る場合があります。
- コンバージョンレンズ（別売）を付けているときは、フラッシュを使用しないでください。
（フラッシュの光をさえぎるため、影が現れ、暗くなります）
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では、フラッシュを閉じておいてください。

⑰ セルフタイマー
タイマーを使って撮る

タイマーを使って写真を撮影できます。

◇モードダイヤルを 📷 に合わせる

1

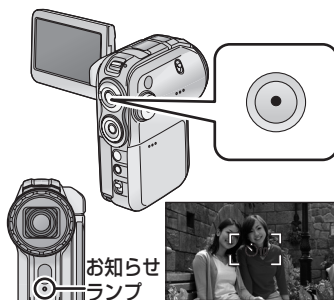
カーソルキーの中央を押して、図のアイコンを出す

2

カーソルキーの左を押して、セルフタイマーアイコン「⏲」を選ぶ

「⏲10」アイコンがオレンジ色に点滅したあと白色点灯します。

- カーソルキーの左を押すたびに「⏲10」→「⏲2」→設定解除に表示が切り換わります。
  - ・⏲10 ：10 秒後に撮影
  - ・⏲2 ：2 秒後に撮影

3

撮影ボタンを押す

「⏲10」または「⏲2」表示とお知らせランプが、設定した時間点滅したあと撮影されます。撮影後、セルフタイマーは解除されます。

- 撮影ボタンを半押ししてから全押しすると半押ししたときにピントが合います。
- 撮影ボタンを一度に全押しすると、撮影直前にピントが合います。

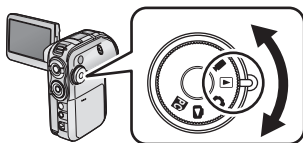
お知らせランプ

【セルフタイマーを途中で止めるには】

メニューボタンを押す（セルフタイマーが解除されます）

- 電源を切ると解除されます。
- ピント合わせのため、撮影されるのが設定時間以上かかる場合があります。
- セルフタイマーを「⏲2」に設定すると、三脚使用時など撮影ボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに便利です。

① ビデオ再生（MPEG2 動画）

1

モードダイヤルを ▶ に合わせる

レンズカバーが自動的に閉じます。

SD カードに記録されているビデオがサムネイル表示（最大 12 シーン）されます。

2

カーソルキーの上下左右を押して再生するシーンを選ぶ

選んでいるシーンが赤色の枠で囲まれます。

- 13 シーン以上記録されている場合は、カーソルキーを押していくと、次の（前の）ページが表示されます。
- 上下ボタンを押し続けると 12 シーンずつページをすすめることができます。このとき、サムネイル表示はされませんが、シーン番号とバーグラフが変わりますので、再生したいシーンのあるページでボタンを離してください。

3

カーソルキーの中央を押す

選んだシーンが全画面で再生されます。

液晶モニターに操作アイコンが自動的に表示されます。

- 画面の左下に撮影を開始した日時を表示します。再生中は止まったままになります。

4

カーソルキーの上下左右を押して操作する

再生 / 一時停止	▶/❚❚
早戻し再生	⏮ を押し続ける
早送り再生	⏭ を押し続ける
停止してサムネイル表示	■

- ⏮、⏭ をポンと押すと、それぞれのシーンの頭出しができます。（スキップ再生）
- 早戻し再生中、早送り再生中は音声が出ません。

撮影する

再生する

① ビデオ再生（MPEG2 動画）（つづき）

- 撮影時間が短いシーンは再生できない場合があります。

【スロー再生するには】

ビデオを通常の約 1/5 の速度で再生します。

1）ビデオの再生中にカーソルキーの上を押して一時停止する

2）カーソルキーの右を押し続ける（左を押し続けると逆スロー再生）

- カーソルキーの上を押すと通常の再生に戻ります。

- スロー再生中は音声が出ません。

【コマ送り再生するには】

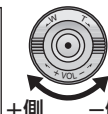
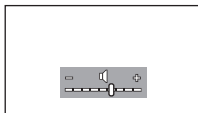
ビデオを 1 フレームずつ進められます。

1）ビデオの再生中にカーソルキーの上を押して一時停止する

2）カーソルキーの右をポンと押す（左を押すと逆コマ送り再生）

- カーソルキーの上を押すと通常の再生に戻ります。

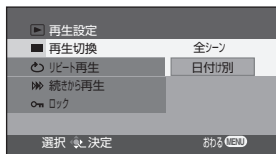
【音量を調整するには】

再生時のスピーカー音量（ヘッドホン（別売）使用時はヘッドホン音量）を調整します。

+側　　–側

ボリュームレバーを動かして音量を変える

- ・**＋側**　：音量を上げる
- ・**－側**　：音量を下げる

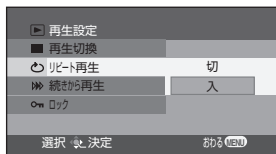
- 「▯」表示が右に移動する（＋に近付く）ほど音量が大きくなります。
- 調整が終わると、音量表示は消えます。

【日付け別にシーンを再生するには】

1) メニューボタンを押し、カーソルキーで「▶ 再生設定」→「 再生切換」→「日付け別」に設定する（P27）

- 「再生切換」を「全シーン」にすると、記録されているすべてのシーンを続けて再生します。（「P ALL」が表示されます）

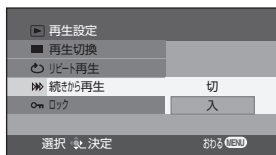
2) カーソルキーの上下を押して、再生したい日付けを選び、中央を押す

- 1 つのシーンの再生を始めると、同じ日に撮影されたシーンを続けて再生します。（「P 01」などが表示されます）

【繰り返し再生するには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「▶ 再生設定」→「 リピート再生」→「入」に設定する（P27）

サムネイル表示と全画面表示に「 」が表示されます。

- 解除するには、「リピート再生」を「切」に設定してください。

【前回の続きから再生するには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「▶ 再生設定」→「 続きから再生」→「入」に設定する（P27）

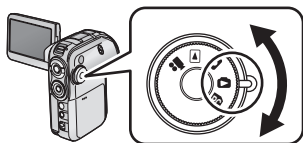
- 再生を停止すると、サムネイル表示中の停止したシーンに「R」が表示されます。

- 「続きから再生」を「切」にすると、途中で再生を停止した場合、次の再生時にはそのシーンのはじめから再生します。
- SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている SD カードを入れると「続きから再生」は「切」になります。（P14）

■ 動画の互換性について

- 本機で再生できるファイル形式は MPEG2 です。
- 本機は SD-Video 規格に準拠しています。
- 他機で記録 / 作成した動画の本機での再生、本機で撮影した動画の他機での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。
- 約 2 秒未満の動画は再生できません。
- 再生できない動画はグラデーションでサムネイル表示されます。（P102）

② 写真再生（JPEG 静止画）

1

モードダイヤルを に合わせる

レンズカバーが自動的に閉じます。

SD カードに記録されている写真がサムネイル表示（最大 12 シーン）されます。

2

カーソルキーの上下左右を押して再生するシーンを選ぶ

選んでいるシーンが赤色の枠で囲まれます。

- 13 シーン以上記録されている場合は、カーソルキーを押していくと、次の（前の）ページが表示されます。
- 上下ボタンを押し続けると 12 シーンずつページをすすめることができます。このとき、サムネイル表示はされませんが、シーン番号とバーグラフが変わりますので、再生したいシーンのあるページでボタンを離してください。

3

カーソルキーの中央を押す

選んだシーンが全画面で再生されます。

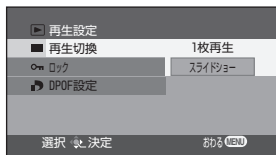
液晶モニターに操作アイコンが自動的に表示されます。

4

カーソルキーの上下左右を押して操作する

スライドショー（SD カードの写真を順番に再生）の開始 / 一時停止	▶/II※
前の写真を再生	◀II
次の写真を再生	II▶
停止してサムネイル表示	■

※スライドショー設定時のみ（右ページ）

【スライドショー再生するには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「▶ 再生設定」→「 再生切換」→「スライドショー」に設定する（P27）

- 「1 枚再生」に設定したときは、スライドショー再生されません。

■ 静止画の互換性について

- 本機は電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式はJPEGです。（JPEG形式でも再生できないものもあります）
- 規格外の静止画を再生すると、フォルダー / シーン番号が表示されない場合があります。
- 他機で記録 / 作成した静止画の本機での再生、本機で撮影した静止画の他機での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

- スライドショー中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- カード動作中ランプ点灯中は、SD カードを抜き差ししないでください。
- 記録画素数によっては、静止画の表示に時間がかかる場合があります。
- 形式の異なる静止画や壊れた静止画を再生したときは、画面全体が灰色になり、「再生できません。」というメッセージが出ることがあります。
- 本機以外で記録した静止画を再生すると、日時表示が撮影日時と異なることがあります。
- 他の機器で記録された静止画を再生すると、記録したときの記録画素数と本機で表示される記録画素数が異なる場合があります。（P95）

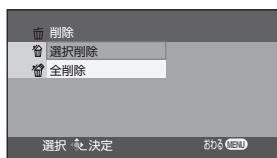
③ シーン削除

SD カードに記録したシーンを削除する

一度削除したシーンは元に戻りません。

■ サムネイル表示から複数のシーンを選んで削除する

◇モードダイヤルを ▶ または ▶ に合わせる

1

メニューボタンを押し、カーソルキーで「削除」→「選択削除」または「全削除」に設定する（P27）

「選択削除」を選んだ場合、シーンがサムネイル表示されます。

- 「全削除」を選んだ場合は手順 4 に進んでください。

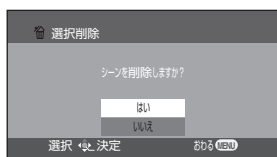
2

（手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）

カーソルキーで削除するシーンを選び、中央を押す

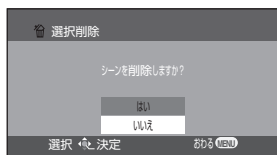
シーンが黄色の枠で囲まれます。

- もう一度押すと、解除されます。
- 表示しているページのサムネイル画像を最大 12 シーンまで続けて設定できます。

3

（手順 1 で「選択削除」を選んだ場合のみ）

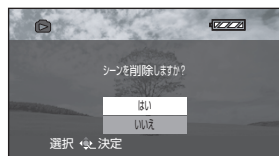
削除ボタン［ ］を押す

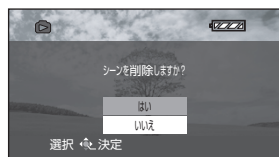
- 手順 2 で 1 枚も削除するシーンを選んでいない状態で削除ボタンを押すと、赤色の枠で囲まれているシーンが削除されます。

4

確認のメッセージが出たら、カーソルキーで「はい」を選び、中央を押す

- 削除をやめるときは、「いいえ」を選びます。

■ シーンを 1 つずつ確認しながら削除する

◇モードダイヤルを ▶ または ▶ に合わせる

再生中に削除ボタン［🗑］を押す

2

確認のメッセージが出たら、カーソルキーで「はい」を選び、中央を押す

- 削除をやめるときは、「いいえ」を選びます。

■ 他の機器で SD カードに記録された静止画ファイルを削除する場合

本機で再生できない静止画ファイル (JPEG 以外のファイル) でも削除される場合があります。

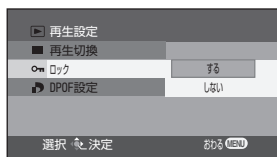
- 削除中にカード扉を開けないでください。削除が中断されます。
- グラデーションでサムネイル表示されたシーンは削除できません。（P102）
- ロックされているシーンは削除できません。
- SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは削除できません。（P14）
- 記録時に「カード残量がありません。」と表示されたときは、不要なシーンを削除してください。それでも削除するシーンがないときは、容量がいっぱいです。新しい SD カードを入れてください。
- 「全削除」の場合、SD カード内にシーンが多数あると、削除に時間がかかることがあります。
- 削除中は電源を切らないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリー（P15）または AC アダプターやカーアダプターを使用してください。
- DCF 規格に準拠したシーンを削除すると、そのシーンに関連するデータはすべて削除されます。

④ ロック設定

シーンの誤消去を防止する

SD カードに記録したシーンを誤って削除しないように、ロック設定できます。（ロックしていても、SD カードをフォーマットした場合はすべてのシーンが削除されます）

◇モードダイヤルを ▶ または ▶ に合わせる

1

メニューボタンを押し、カーソルキーで「▶ 再生設定」→「ロック」→「する」に設定する（P27）

2

カーソルキーの上下左右を押してロックするシーンを選び、中央を押す

「🔑」表示が出てシーンがロックされます。

- もう一度押すと、解除されます。

【設定を終了するには】

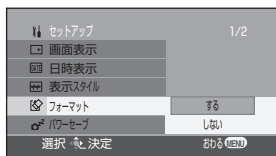
メニューボタンを押す

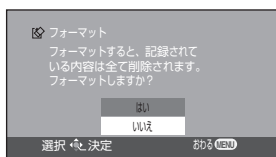
- グラデーションでサムネイル表示されたシーンはロック設定できません。（P102）
- SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときはロック設定できません。（P14）

⑤ フォーマット
SD カードを初期化する

フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができませんので、お気を付けください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。本機で撮影した画像をパソコンに取り込む場合は、必ず MotionSD STUDIO をお使いください。（P75）

◇モードダイヤルを 、、 または に合わせる

1

メニューボタンを押し、カーソルキーで「 セットアップ」→「 フォーマット」→「する」に設定する（P27）

2

確認のメッセージが出たら、カーソルキーで「はい」を選び、中央を押す

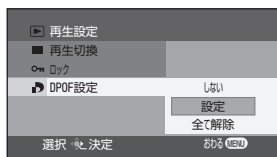
- フォーマットをやめるときは、「いいえ」を選びます。

- フォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、使用できなくなる場合があります。
- ご使用の SD カードによってはフォーマットに時間がかかる場合があります。
- フォーマット中は SD カードを抜かないでください。
- フォーマット中は電源を切らないでください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリー（P15）または AC アダプターやカーアダプターを使用してください。
- S D カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときはフォーマットできません。（P14）

⑥ DPOF（ディーポフ）設定
プリント情報を SD カードに書き込む

プリントしたい写真、プリント枚数などの情報（DPOF データ）を SD カードに書き込むことができます。

◇モードダイヤルを ▶ に合わせる

1

メニューボタンを押し、カーソルキーで「▶ 再生設定」→「DPOF 設定」→「設定」に設定する（P27）

2

カーソルキーの上下左右を押して設定するシーンを選び、中央を押す

枚数表示が出ます。

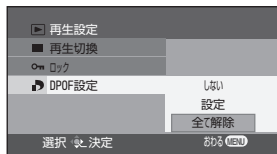
3

カーソルキーの上下を押してプリントする枚数を選び、中央を押す

- 0から999枚まで選べます。(DPOFに対応したプリンターで、設定した枚数をプリントできます)
- 0 枚にすると解除できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

【すべての写真の枚数を 0 枚に戻すには】

メニューボタンを押し、カーソルキーで「▶ 再生設定」→「DPOF 設定」→「全て解除」に設定する（P27）

確認のメッセージが表示されますので「はい」を選んでください。

■ DPOF とは

Digital Print Order Format（デジタル プリント オーダー フォーマット）の略です。
DPOF 対応のシステムで活用できるように、プリント情報を書き込むことができるようにしたものです。

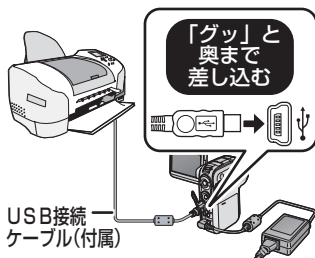
- DPOF設定は最大999シーンまで設定できます。
- 他機で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。
- DPOF 設定で日付プリントを指定することはできません。
- ＳＤ カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは DPOF 設定できません。（P14）

⑦ PictBridge（ピクトブリッジ）

プリンターに直接つないでプリントする

PictBridge に対応したプリンターが必要です。
（プリンターの説明書もお読みください）

◇AC アダプターと本機をつなぐ
◇モードダイヤルを ▶ に合わせる

1

端子カバーを開け、USB 接続ケーブル（付属）を USB 端子へ差し込んで、プリンターと接続する

SD カードに記録されている写真がサムネイル表示されます。

- 本機に ＳＤ カードが入っていないときは、「PictBridge」は表示されません。（プリントできません）
- 「PictBridge」が点滅し続ける（約 1 分以上）場合は、本機とプリンターの接続が正しくありません。ケーブルを接続し直すか、プリンターを確認してください。
- 必ず、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）

2

カーソルキーの上下左右を押してプリントするシーンを選び、中央を押す

枚数設定が表示されます。

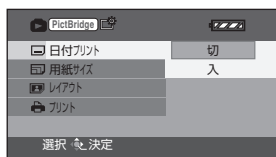
3

カーソルキーの上下を押してプリントする枚数を選び、中央を押す

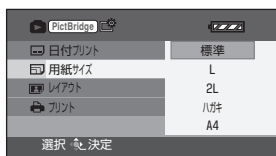
- 最大で 9 枚まで設定できます。
- 0 枚にすると解除できます。
- 手順2と3を繰り返して、表示しているサムネイル画像を最大 12 シーンまで続けて設定できます。

4

メニューボタンを押してメニュー画面を表示する

5

カーソルキーで「日付プリント」を選び、カーソルキーの右を押して日付プリントの設定を選ぶ

- プリンターが日付印刷に対応していないと、設定できません。

6

カーソルキーで「用紙サイズ」を選び、カーソルキーの右を押して用紙のサイズを選ぶ

- ・**標準**　：プリンターに設定されているサイズ
- ・**L**　：L 版サイズ
- ・**2L**　：2L 版サイズ
- ・**ハガキ**：はがきサイズ
- ・**A4**　：A4 サイズ

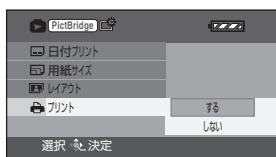
● プリンターが対応していないサイズには設定できません。

7

カーソルキーで「レイアウト」を選び、カーソルキーの右を押してレイアウトを選ぶ

- ・**標準**　：プリンターに設定されているレイアウト
- ・（ふちなしアイコン）：ふちなしプリント
- ・（ふちありアイコン）：ふちありプリント

● プリンターが対応していないレイアウトには設定できません。

8

カーソルキーで「プリント」を選び、カーソルキーの右を押して「する」を選んで、プリントする

● プリント終了後、USB 接続ケーブル（付属）を抜くと PictBridge が終了します。

【プリントを途中でやめるには】

カーソルキーの下を押す

● 確認のメッセージが出ます。
「はい」を選んだ場合は枚数設定を解除してサムネイル画面に戻り、「いいえ」を選んだ場合は枚数設定など設定した内容を保持してサムネイル画面に戻ります。

● プリント中は以下の操作をしないでください。正しくプリントされません。
- ・USB 接続ケーブルを抜く
- ・SD カードを取り出す
- ・モードダイヤルを回す
- ・電源を切る

● 用紙サイズや印字品質など、プリンターの設定を確認してください。

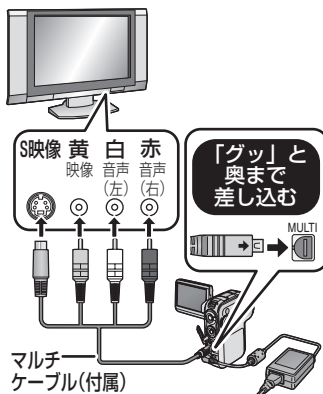
● 本機で再生できない写真はプリントできません。

● プリンターに直接つないでいるときは、DPOF プリントはできません。

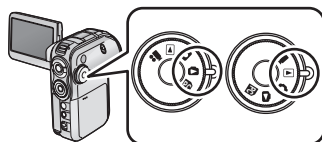
⑧ テレビにつないで見る

本機で撮った映像をテレビ画面で再生できます。

◇本機に撮影済みの SD カードを入れておく

1

端子カバーを開け、マルチケーブル(付属)をマルチコネクター[MULTI]へ差し込んで、テレビと接続する

- テレビにS映像入力端子があるときは、S映像プラグも同時に接続すると、よりきれいな映像を見ることができます。
(必ず映像 / 音声入力端子も一緒に接続してください)
- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

2

本機の電源を入れ、▶ ビデオ再生モードまたは ▶ 写真再生モードにする

3 テレビの入力チャンネルを選ぶ

<テレビの設定>
例:チャンネルを「ビデオ 2」などにする(接続する端子によって変わります)

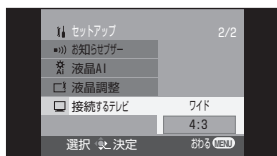
4 シーンの再生を始める(P59、62)

テレビに映像・音声が出ます。

■ **テレビに本機の映像や音声が出ない場合**

- コードがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- SDカードスロット付テレビにSDカードを入れて、本機で撮影したビデオを再生することはできません。(2005 年 10 月現在)
- **テレビの入力設定(入力切換)を確認してください。(詳しくはテレビの説明書をお読みください)**

【画面の比率が４：３のテレビに接続するには】

横縦比 16：9 で撮影したビデオ（ビデオ撮影メニューの「ワイド」を「入」に設定）や写真（写真撮影メニューの「記録画素数」を「HDTV」に設定）を横縦比 ４：３ のテレビで再生すると、画面に映る映像が縦長になることがあります。この場合、メニューの設定を変更するとオリジナルの比率で再生できるようになります。（テレビの設定により、正しく表示されない場合がありますので、テレビの説明書もお読みください）

メニューボタンを押し、カーソルキーで「セットアップ」→「接続するテレビ」→「４：３」に設定する（P27）

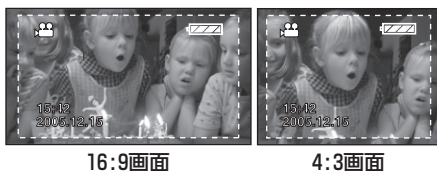
横縦比 16：9 の映像をテレビに映したときの例

		テレビ画面の比率		
		４：３テレビ	ワイド（16:9）テレビ	
メニュー項目の「接続するテレビ」	「ワイド」	①	③	① 縦長の映像になります。 ② 画面の上下に黒帯が出ます。 ③ 通常の映像です。 ④ 画面の上下左右に黒帯が出ます。
	「４：３」	②	④	

■ 撮影した映像をテレビで見る場合

テレビによっては本機から出力される映像の周囲（点線より外の部分）が映らないことがありますので、あらかじめ、撮りたいものの周囲を広めに撮影しておくことをおすすめします。

16:9画面

4:3画面

【テレビ画面に機能表示などを表示するには】

液晶モニターに表示されている情報（操作アイコン、モード表示など）や年月日 / 時刻表示（P30）をテレビ画面に表示することができます。

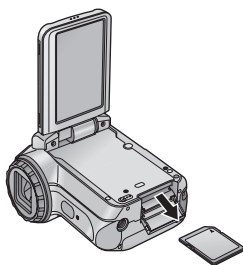
リモコンの表示出力ボタン［OSD］を押す

- 再度、表示出力ボタン［OSD］を押すと、表示が消えます。
- 液晶モニターの表示は変わりません。

⑨ 他の機器で利用する

DVD レコーダーの SD カードスロットからハードディスクなどに保存する

SD カードの容量がいっぱいになったときや誤消去防止のために、SD カード内のシーンを DVD レコーダーのハードディスクや DVD-RAM ディスクに記録してください。
DVD レコーダーによっては、本機で記録したビデオ（MPEG2 動画）をハードディスクなどに保存（ダビング）することはできません。
（詳しくは、DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください）

1

本機から撮影済みの SD カードを取り出す（P13）

- 本機の電源スイッチを［OFF］にしてから、SD カードを取り出してください。

2

DVD レコーダーのカードスロットに入れる

- ハードディスクへの記録方法などは、DVD レコーダーの説明書をお読みください。

- ハードディスクやDVD-RAMディスクに記録した映像は、DVDビデオレコーディング形式に変換されますので、DVD-R ディスクへの高速ダビングや SD カードへの MPEG2 形式でのダビングはできません。（2005 年 10 月現在）

① パソコンとつないで使う

付属の CD-ROM をパソコンに入れると、CD ランチャーが起動します。

動画編集ソフト MotionSD STUDIO 1.0J（モーションエスディー スタジオ）

本機からの画像の取り込み、編集、出力を行うことができるソフトウェアです。また、取り込んだ画像を電子メールで送ったり、編集した画像を DVD メディアに記録することができます。
MotionSD STUDIO 1.0J の使いかたは取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

Web カメラドライバー（ウェブ）

本機とパソコンを接続すると、インターネットで本機から映像と音声を通信相手に送ることができます。パソコン用のスピーカーを使って、インターネットテレビ電話のように使用することができます。

Acrobat Reader（アクロバット リーダー）

MotionSD STUDIO の取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。
ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM からインストールできます。CD ランチャーの［Acrobat Reader］をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

DirectX（ダイレクトエックス）

MotionSD STUDIO または Web カメラ機能を使用するためには、Microsoft DirectX 9.0b が必要です。(MotionSD STUDIO または Web カメラドライバーのインストール時にもインストールできます）ソフトウェアのインストール時に促された DirectX のインストールをキャンセルするなどして、ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、CD ランチャーの［DirectX］をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

- お使いの環境によっては、DirectX 9.0b のインストールで、旧バージョンの DirectX に対応したソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。
  この場合、動作しなくなったソフトウェアの製造元にお問い合わせください。
  (お使いのパソコンが DirectX 9.0 に対応している必要があります)

① パソコンとつないで使う（つづき）

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機では動作を保証しません。
- Macintosh には対応していません。
- Windows 3.1/95/98/98SE/Me/NT には対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証しません。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブや USB 延長ケーブルで接続した場合は、動作を保証しません。
- パソコンとの接続には、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）

－IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
－Intel®、Pentium® および Celeron® は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

- Windows のサービスパック（SP1 や SP4 など）をアップグレードするには、[スタート]（→ [すべてのプログラム]）→ [Windows Update] からアップグレードしてください。（インターネットに接続できる環境が必要です）
- Windows Messenger/MSN Messengerソフトのダウンロード情報については、Web サイトをご参照ください。

http://panasonic.jp/support/video/faq/dvc/gs55.html

MotionSD STUDIO 1.0J（動画編集ソフト）の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional SP4 Microsoft Windows XP Home Edition SP2 Microsoft Windows XP Professional SP2
CPU	Intel Pentium III 800 MHz 以上（互換 CPU を含む） （Intel Pentium 4 1.6 GHz 以上を推奨）
メモリ	256 MB 以上（512 MB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上（32 bit 以上を推奨） デスクトップ領域1024×768以上（1280×1024以上を推奨） DirectX 9.0b/9.0c に対応したビデオカード DirectDraw のオーバーレイに対応
ハードディスク	Ultra DMA-33 以上（Ultra DMA-100 以上を推奨） インストール 640 MB 以上の空き容量 （DVD 書き込み時は、作成するディスクと同じ容量の空き領域が必要です）
必要なソフトウェア	DirectX 9.0b/9.0c （DirectX 9.0b/9.0cに対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください） Windows Media Player 6.4 ～ 10
サウンド	DirectSound 対応
ドライブ	CD-ROM ドライブ （ DVD 書き込みには対応したドライブとメディアが必要です）
インターフェース	USB 端子（USB2.0 ハイスピードを推奨）
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

MotionSD STUDIO は

- マルチブート環境には対応していません。
- マルチ CPU 環境には対応していません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition および 64 bit のオペレーティングシステムでの動作は保証しません。

① パソコンとつないで使う（つづき）

Web カメラとして使う場合の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional SP4 Microsoft Windows XP Home Edition SP1/SP2 Microsoft Windows XP Professional SP1/SP2 （Windows XP SP2 は OS の標準ドライバーを使用）
CPU	Intel Pentium Ⅲ 450 MHz以上、またはIntel Celeron 400 MHz以上
メモリ	128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上、デスクトップ領域 800×600 以上
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量
必要なソフトウェア	DirectX 9.0b/9.0c、Windows Messenger 5.0/5.1またはMSN Messenger 7.0（Windows XP は、MSN Messenger 7.0/7.5）
ドライブ	CD-ROM ドライブ（インストールに必要）
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

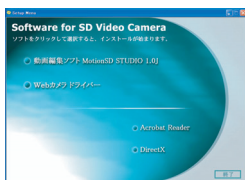
本機を Web カメラとして使うときは、以下の点にお気を付けください

- Windows Messenger/MSN Messenger の使いかたについては、ヘルプファイルをお読みください。
- 通信する相手側も同じソフトウェアを使用している必要があります。
- パソコンのセキュリティの設定によっては、正常に通信ができない場合があります。

② MotionSD STUDIO のインストール

(MotionSD: モーションエスディー / STUDIO: スタジオ)

- CD ランチャーを起動する前に、他の起動中のソフトウェアをすべて終了してください。
- インストール中はパソコン上で他の作業をしないでください。

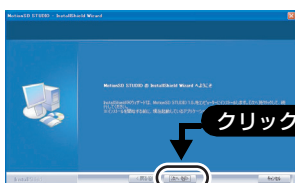
1

CD-ROM をパソコンに入れる

CD ランチャーが起動します。
（CD-ROM をパソコンに入れても CD ランチャーが自動で起動しない場合は81ページをお読みください）

2

[動画編集ソフトMotionSD STUDIO 1.0J］をクリックする

- インストール途中に［キャンセル］などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

3

［次へ］をクリックする

- 以下、画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。

4

［完了］をクリックする

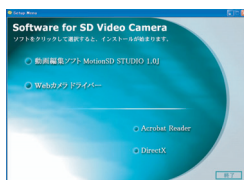
- インストール後、自動的にパソコンが再起動されます。
- お使いの環境によっては DirectX 9.0b のインストールを要求されますので、［はい］をクリックしてインストールしてください。

- DirectX 9.0b/9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。
- 対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

③ Web（ウェブ）カメラドライバーのインストール

- CD ランチャーを起動する前に、他の起動中のソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows XP SP1、Windows 2000 SP4 をお使いの場合にインストールしてください。（Windows XP SP2 の場合は、OS 標準ドライバーで動作するため、インストールの必要はありません）
- Windows XP をお使いの場合、環境によってはインストールに時間がかかることがあります。

インストールする前に USB 接続ケーブルを接続しないでください。USB 接続ケーブルを接続していると、Web カメラドライバーが正常にインストールできません。

1

CD-ROM をパソコンに入れる

CD ランチャーが起動します。
（CD-ROM をパソコンに入れても CD ランチャーが自動で起動しない場合は右ページをお読みください）

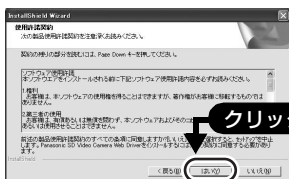
2

[Webカメラ ドライバー] をクリックする

- インストール途中に［キャンセル］などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

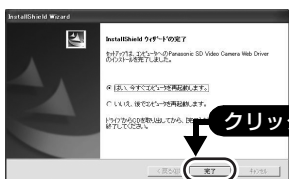
3

［次へ］をクリックする

4

[使用許諾契約］画面をよく読んで、[はい］をクリックする

- ［いいえ］をクリックすると、インストールできません。
- インストール後、自動的にパソコンが再起動されます。
- お使いの環境によっては DirectX 9.0b のインストールを要求されますので、[はい］をクリックしてインストールしてください。

- 再起動後、手順 3 から Web カメラドライバーのインストールが始まります。

5

[完了］をクリックする

ドライバーを有効にするには、再起動が必要です。

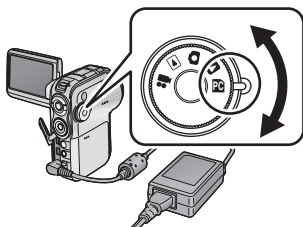
■ CD-ROM をパソコンに入れても CD ランチャーが自動で起動しない場合
[スタート］→［マイコンピュータ］を選び（またはデスクトップの［マイコンピュータ］をダブルクリックして）、[PANASONIC］をダブルクリックしてください。（[PANASONIC］を開いて［autorun (.exe)］をダブルクリックしても起動できます）

④ 接続と認識作業

ドライバーとソフトウェアのインストール後、パソコンと本機を接続し、本機をパソコンに正しく認識させる必要があります。

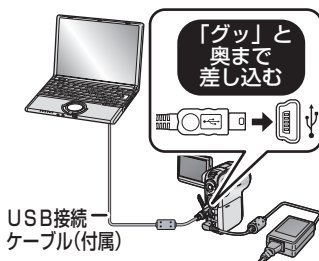
- ドライバーとソフトウェアのインストール後に接続を行ってください。
  インストール前に接続を行うと、本機が正しく認識されない場合があります。
- CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。
  （CD ランチャーが起動している場合は、終了してから取り出してください）
- 認識作業が正しく行われないと、本機をパソコンと接続して使用することができません。
- 本機が正常に動作しないときは、インストールや認識作業が正常に行われていない可能性があります。
- 本機および各接続機器の電源には、AC アダプターをご使用ください。

◇AC アダプターと本機をつなぐ

1

本機の操作モードを選ぶ

ビデオ撮影	Web カメラ（P85）
ビデオ再生	使用できません
写真撮影	Web カメラ（P85）
写真再生	使用できません
PC 接続	MotionSD STUDIO （カードリーダーライター機能）

- 本機が写真再生モードのときは、PictBridge 対応プリンターと接続してください。（P69）

2

端子カバーを開け、USB 接続ケーブル（付属）を USB 端子へ差し込んで、パソコンと接続する

- 奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。
- 必ず、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）

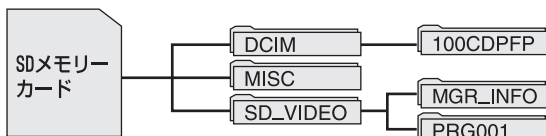
- **本機を PC 接続モードにしてパソコンと接続しているときは、本機の操作モードの変更や電源を切ることはできません。**
  この場合、一度 USB 接続ケーブルを外してから（P86）、操作モードを変更したり、電源を切ってください。

【本機のモードをビデオ撮影モードもしくは写真撮影モードにした場合】
ドライバーの確認作業を行ってください。（P88）

- Windows 2000 をお使いの場合、最初の接続時（最初のビデオ撮影 / 写真撮影モード時）に、右図のようなメッセージが表示されることがありますが、動作には問題ありませんので、[はい] をクリックしてください。
  - ー [Panasonic SD Video Camera Web Camera Device］と表示されます。
  - ー 自動的に認識作業が終了します。（そのままお使いください）

【本機のモードを PC 接続モードにした場合】

［マイコンピュータ］に［リムーバブルディスク］が表示されます。

リムーバブルディスク内のフォルダー構造

- 本機で記録したシーンは以下のフォルダーに保存されています。

	フォルダー名（例）	シーン名（例）
ビデオ	PRG001	MOV001.MOD
写真	100CDPFP	IMGA0001.JPG

- SD カード内のフォルダーをパソコン上で削除しないでください。本機で SD カードが読み込めなくなる場合があります。
- SD カードのフォーマットは必ず本機で行ってください。
- パソコン上で本機未対応のデータを記録した場合、本機では認識できません。
- ［100CDPFP］フォルダーなどには最大で 999 シーン記録できます。
- ［PRG001］フォルダーなどには最大で 99 シーン記録できます。
- ［MISC］フォルダーには DPOF 設定されたシーンが記録されます。

本機で記録したシーンはエクスプローラなどで取り込まないでください。
取り込むときは MotionSD STUDIO をお使いください。（P75）

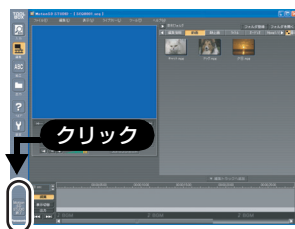
⑤ MotionSD STUDIO を使う

- 最初に使用する前に、スタートメニューからソフトウェアの［はじめにお読みください］を選び、補足説明や最新情報を必ずお読みください。
- 最初の起動時に使用許諾書が表示されますので、よく読んで［同意します］をクリックしてください。

■ MotionSD STUDIO の起動

［スタート］→［すべてのプログラム（プログラム）］→［Panasonic］→［MotionSD STUDIO 1.0J］→［MotionSD STUDIO］を選ぶ

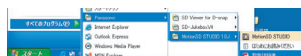
［MotionSD STUDIO の概要］画面が表示されます。

■ MotionSD STUDIO の終了

［TOOL BOX］の一番下にある Motion SD STUDIO 終了 をクリックする

- MotionSD STUDIO のメニューから、［ファイル］→［アプリケーションの終了］を選んでも終了できます。

- MotionSD STUDIOで編集した映像をSDカードに記録する場合は当社製、またはその他のビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いください。（P14）
- MotionSD STUDIO で、SD カードや DVD R/RW、DVD-RAM にシーンを記録する場合、シーン数が多いとサムネイルの表示や、出力に時間がかかる場合があります。

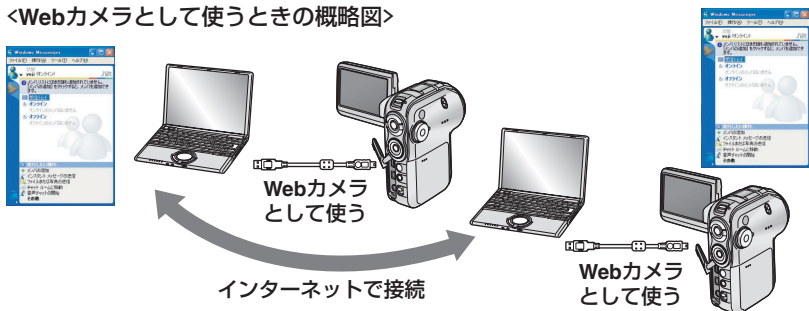
⑥ MotionSD STUDIO の取扱説明書を読む

詳しい使いかたについては、取扱説明書（PDF ファイル）やヘルプファイルをお読みください。

[スタート] → [すべてのプログラム (プログラム)] → [Panasonic] → [MotionSD STUDIO 1.0J] → [取扱説明書] を選ぶ

- 起動後は、メニューから［ヘルプ］→［ヘルプ］を選んでヘルプファイルを表示できます。
- 取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。（P75）

⑦ 本機を Web カメラとして使う

本機とパソコンを接続すると、インターネットで本機から映像と音声を通信相手に送ることができます。パソコン用のスピーカーを使って、インターネットテレビ電話のように使用することができます。

<Webカメラとして使うときの概略図>

- 各機器の電源には、必ず AC アダプターをお使いください。
- 本機のマイクの代わりに、パソコンのマイクを使用することもできます。（パソコンで設定してください）
- 通信している環境やパソコンの性能により、通信の途中で映像や音声が途切れることがあります。

⑦ 本機を Web カメラとして使う（つづき）

■ Web カメラで使用可能なソフトウェア

			相手のパソコン		
			Windows XP		Windows 2000
			Windows Messenger	MSN Messenger	MSN Messenger
自分のパソコン	Windows XP	Windows Messenger	○	×	×
		MSN Messenger	×	○	○
	Windows 2000	MSN Messenger	×	○	○

※動作環境については 78 ページをお読みください。

■ 接続のしかた

本機とパソコンを接続する前に、必ず［Web カメラドライバー］をインストールしてください。（P80）

1）本機の電源を入れ、ビデオ撮影モードまたは写真撮影モードにする

2）USB 接続ケーブルでパソコンに接続する（P82）

- 必ず、付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証しません）

3）［スタート］→［すべてのプログラム（プログラム）］→［Windows Messenger］または［MSN Messenger］を選ぶ

⑧ USB 接続ケーブルを安全に外す

1）タスクトレイの アイコンをダブルクリックする

［ハードウェアの安全な取り外し］画面が表示されます。

- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。

2）［USB 大容量記憶装置デバイス］を選び、［停止］をクリックする

3）［MATSHITA SD Video Camera USB Device］が選ばれていることを確認し、［OK］をクリックする

- ［OK］をクリックすると、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。

⑨ ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

1

［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］内の［プログラム（アプリケーション）の追加と削除］をクリックする

2

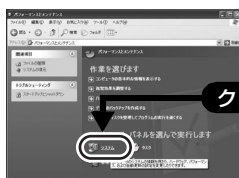
削除したいソフトを選び、［変更と削除］（［変更 / 削除］または［追加と削除］）をクリックする

- 画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。
- Web カメラドライバーをアンインストールするときは、［Panasonic SD Video Camera Web Driver］を選んでください。
- Web カメラドライバーをパソコンのデバイスマネージャから削除したい場合は、「ドライバーの確認」（P88）でドライバーを確認し、手動で削除してください。

⑩ ドライバーの確認

ドライバーが正常に動作しない場合には、以下の手順で正しく認識されているか確認してください。
本機のモードを選んで、USB 接続ケーブルでパソコンと接続してから確認してください。（P82）

- NEC 製など一部のパソコンでは、機能制限のあるモードに設定されていると、デバイスマネージャなどが表示されない場合があります。メーカーにお問い合わせいただくか、お使いのパソコンの説明書に従って、すべての機能が使えるモードにしてから操作してください。

1

［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］から、（［パフォーマンスとメンテナンス］→）［システム］を起動する

2

［デバイスマネージャ］を表示させて、ドライバーが正しくインストールされているか確認する

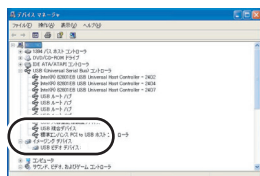
- ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックします。

■ 正しく認識されている場合

（本機がビデオ撮影 / 写真撮影モードのとき）

Windows XP：

［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］に［USB 複合デバイス］、
［イメージングデバイス］に［USB ビデオデバイス］と表示されます。

- 2台目、3台目などのSDビデオカメラを接続すると、［USB ビデオデバイス #X（X：数字）］と表示されることもあります。

Windows 2000：

［イメージングデバイス］に［Panasonic SD Video Camera Web Camera Device］と表示されます。

(本機が PC 接続モードのとき)
[USB (Universal Serial Bus) コントローラ] に [USB 大容量記憶装置デバイス] が表示されます。

■ 正しく認識されていない場合

[USB (Universal Serial Bus) コントローラ] や [その他のデバイス] などに [!] や「不明なデバイス」と表示されます。
(お使いのパソコンによって、表示される場所が変わります)
一度、USB 接続ケーブルを抜いて、[Web カメラドライバー] をインストールし直してから (P80)、再度接続してください。(P82)

以下の場合は Web カメラドライバーが正しくインストールされていません。

- [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] の [USB 複合デバイス]、または [イメージングデバイス] の [USB ビデオデバイス] のいずれかに「!」マークが付いている場合
- [その他のデバイス] に [Web Camera] が表示されている場合

ドライバーをデバイスマネージャから削除したあとアンインストールし (P87)、[Web カメラドライバー] をインストールし直してから (P80)、再度接続してください。

パソコンで使う

① SDカードへの記録枚数

記録枚数

■ 写真の画質と記録枚数(SDメモリーカード使用時)

記録画素数	2048 (2048×1512)		1280 (1280×960)	
写真画質				
8 MB	約2枚	約4枚	約7枚	約12枚
16 MB	約7枚	約12枚	約20枚	約32枚
32 MB	約18枚	約28枚	約45枚	約73枚
64 MB	約38枚	約61枚	約96枚	約155枚
128 MB	約75枚	約120枚	約185枚	約300枚
256 MB	約155枚	約250枚	約390枚	約620枚
512 MB	約310枚	約490枚	約770枚	約1230枚
1 GB	約630枚	約990枚	約1550枚	約2470枚
2 GB	約1280枚	約2010枚	約3160枚	約5030枚

記録画素数	640 (640×480)		HDTV (1920×1080)	
写真画質				
8 MB	約37枚	約75枚	約3枚	約6枚
16 MB	約92枚	約185枚	約10枚	約16枚
32 MB	約200枚	約410枚	約23枚	約37枚
64 MB	約430枚	約850枚	約50枚	約80枚
128 MB	約820枚	約1640枚	約98枚	約155枚
256 MB	約1710枚	約3410枚	約210枚	約320枚
512 MB	約3390枚	約6780枚	約410枚	約640枚
1 GB	約6790枚	約13580枚	約820枚	約1290枚
2 GB	約13820枚	約27640枚	約1670枚	約2630枚

- 「 」、「 」が混在している場合や撮影される被写体によっては、写真の記録枚数は変動します。

② メニュー一覧

ビデオ撮影メニュー

■ よく使う設定

SCN シーンモード（P45）
風音低減（P41）
記録モード（P36）
ワイド（P42）
時計設定（P29）

■ お好み設定

デジタルズーム（P38）
手ぶれ補正（P43）
カラーナイトビュー（P44）
撮影ランプ（P34）
ズームマイク（P39）

■ セットアップ

画面表示（P93）
日時表示（P30）
表示スタイル（P29）
フォーマット（P67）
クイックスタート（P20）
パワーセーブ（P93）
お知らせブザー（P93）
液晶 AI（P31）
液晶調整（P31）
初期設定（P93）
DEMO デモモード（P93）

■ LANGUAGE（ランゲージ）

日本語（P30）
English（P30）

写真撮影メニュー

- 「セットアップ」、「LANGUAGE」に関してはビデオ撮影メニューを参照してください。

■ よく使う設定

SCN シーンモード（P45）
記録画素数（P54）
写真画質（P54）
時計設定（P29）

② メニュー一覧（つづき）

■ お好み設定

お好み設定	1/2
フラッシュ	A
赤目軽減	切
フラッシュ明るさ	±0
手ぶれ補正	入
撮影ランプ	切
選択 決定	おわる MENU

フラッシュ（P56）
赤目軽減（P56）
フラッシュ明るさ（P57）
手ぶれ補正（P43）
撮影ランプ（P34）
シャッター効果（P55）

ビデオ再生メニュー

● 「LANGUAGE」に関してはビデオ撮影メニューを参照してください。

■ 削除

選択削除（P64）
全削除（P64）

■ 再生設定

再生切換（P61）
リピート再生（P61）
続きから再生（P61）
ロック（P66）

■ セットアップ

画面表示（右ページ）
日時表示（P30）
表示スタイル（P29）
フォーマット（P67）
パワーセーブ（右ページ）
お知らせブザー（右ページ）
液晶 AI（P31）
液晶調整（P31）
接続するテレビ（P73）

写真再生メニュー

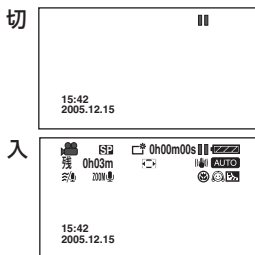
● 「削除」、「セットアップ」に関してはビデオ再生メニューを、「LANGUAGE」に関してはビデオ撮影メニューを参照してください。

■ 再生設定

再生切換（P63）
ロック（P66）
DPOF 設定（P68）

③ セットアップメニュー

■ 画面表示
・切　・入

画面の表示を図のように切り換えられます。

■ お知らせブザー
・切　・入

撮影の開始や終了などを音で確認できます。
「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などにブザーが鳴りません。

「ピッ」
撮影開始時や電源を［ON］にすると鳴ります。また、削除、フォーマットでの確認メッセージ表示時や、本機がパソコンやプリンターを認識したときに鳴ります。

「ピピッ」
撮影停止時や電源を［OFF］にすると鳴ります。

「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回）」
書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている SD カードを入れて撮影モードにしたときに鳴ります。画面に出る文章表示（P96）の内容を確認してください。

■ パワーセーブ
・切　・5分

切： パワーセーブは働きません。
5 分： 約 5 分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。

● 以下の場合は「パワーセーブ」を「5分」にしていても自動的に電源が切れません。
　－ AC アダプターまたはカーアダプターで使用しているとき
　－ USB接続ケーブルでパソコンやプリンターと接続しているとき

■ 初期設定
・する　・しない

機能の組み合わせによって選択できないメニューがあるときなどに、メニューをお買い上げ時の設定に戻します。

■ DEMO デモモード
・切　・入

本機の紹介（デモ）を始めます。
（モードダイヤルが またはのときのみ）

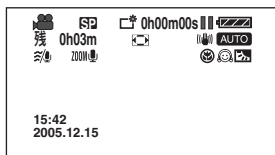
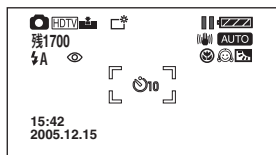
● SD カードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。SD カードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると停止します。通常は「切」にしてお使いください。

④ 画面の表示

撮影表示

ビデオ
撮影表示

写真
撮影表示

HDTV
残1700
AUTO
15:42
2005.12.15

	バッテリー残量
残　0h00m	ビデオ撮影残り時間
0h00m00s	撮影経過時間
12:30 2005.12.15	時刻 年月日
●/❚❚（赤）	撮影中
❚❚（緑）	撮影の停止中
	デジタルズーム
AUTO	オートモード
MNL	マニュアルモード
MF	マニュアルフォーカス
2×	ズーム倍率表示
	逆光補正
	手ぶれ補正
	パワー LCD
1/60	シャッター速度
OPEN/F2.4	絞り値
6dB	ゲイン値
WEB	Web カメラモード
	美肌モード
	テレマクロ機能
	カラーナイトビュー
ZOOM	ズームマイク
	風音低減
XP / SP / LP	ビデオ記録モード

	スポーツモード ポートレートモード ローライトモード スポットライトモード サーフ＆スノーモード
AWB	オートモード 屋内（白熱電球）モード 屋外モード 蛍光灯モード セットモード
ϟ/ϟ−/ϟ+/ ϟA/ϟA+/ ϟA−	フラッシュ
	赤目軽減
○(白)/●(緑)	シャッターチャンスマーク
10 / 2	セルフタイマー
MEGA	MEGA OIS
2048 1280 640 HDTV	写真記録画素数 2048×1512 1280×960 640×480 1920×1080
/	写真画質
残 18	写真の残り撮影可能枚数（「残 0」で赤色点滅となります）

再生表示

ビデオ
再生表示

▶	再生中
❚❚	再生の一時停止中
▶▶/◀◀	早送り / 早戻し再生中
▶❘/❘◀	最後 / 最初のシーンの一時停止中
▶▶❘/❘◀◀	スキップ再生中
❘▶/◀❘	スロー / 逆スロー再生中
❘❘▶ / ◀❘❘	正 / 逆方向コマ送り中
0h00m00s	ビデオ再生時間
P	再生切換
🔈	音量調整
▣	スライドショー
100-0001	写真フォルダー/シーン番号
No. 10	データ番号
PictBridge	PictBridge 対応プリンター接続時
000 枚	DPOF 設定枚数
1	DPOF 設定済み（1 枚以上に設定）
О┳	ロック設定済み
R	続きから再生
⟳	リピート再生
2048 1280 640 HDTV	写真の記録画素数 2048×1512 1280×960 640×480 1920×1080

写真
再生表示

QXGA UXGA SXGA XGA SVGA 640	2048 以上のとき 1600以上2048未満のとき 1280以上1600未満のとき 1024以上1280未満のとき 800以上1024未満のとき 640以上　800未満のとき （640 未満のときは、サイズは表示されません）
本機で記録していない画像は、水平方向画素数によって上記のようなサイズ表示になります。また、水平方向画素数が 2048、1280、640 の場合は、垂直方向画素数に関係なく 2048 、1280 、640 が表示されます。	

確認表示

(電池消耗マーク)または −−	内蔵日付用電池が消耗したとき（P30）
!	● 対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻して警告表示を確認してください。（P22） ● Webカメラ動作中に警告が出ています。警告の内容についてはQ&Aを参照してください。（P103）
(SDカードなしマーク)	SD カードが入っていないとき、または使用不可カード

④ 画面の表示（つづき）

文章表示

記録できません。	SD カードへの書き込みに失敗しました。
カードを確認してください。	未対応のカード、または本機で認識できないカードです。
このカードはビデオ記録できません。	ビデオ撮影モードで、8 MB もしくは 16 MB の SD カードが入っています。
カードがロックされています。ロックを解除してください。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。（P14）
このカードはこれ以上シーン記録できません。	1 枚の SD カードに記録できる写真またはビデオ（プログラム）のシーン数を超えています。不要なシーンなどを削除するか、新しいSDカードを入れてください。（P13、64）
このカードはこれ以上プログラムを追加できません。	
カードを入れてください。	SD カードが入っていません。（P13）
カードのふたをとじてください。	カード扉が開いた状態で操作しています。
カード残量がありません。	SD カードがいっぱいで記録できません。シーンなどを削除するか、新しいSDカードを入れてください。（P13、64）
再生できません。	再生不能のカードです。
シーンがロックされています。ロックを解除してください。	ロック設定されているシーンに削除操作をしています。（P66）
カードにアクセス中です。カードを抜かないでください。	データの処理中です。カード扉を閉めてしばらくお待ちください。
シーンがありません。	SD カードにビデオや写真が記録されていません。
フォーマット失敗しました。このカードは再フォーマットが必要です。	SD カードのフォーマットに失敗しました。
DPOF を設定できません。	DPOF 設定を SD カードに書き込むのに失敗しました。
データの規格が異なるためこのカードはビデオモードでは使えません。	ビデオモードの規格とデータのバージョンが異なります。データをパソコンに保存して、フォーマット後お使いください。
プロテクトされたプログラムまたはプレイリストに含まれるシーンがあります。	削除しようとしているシーンがロックされているか、他機器で作成したプレイリストに含まれます。

バッテリー残量がありません。	バッテリー容量がなくなりました。バッテリーを充電してください。（P15）
RESET ボタンを押してください。	本機が異常を検出しました。SD カードを取り出してから、リセットボタンを押して本機を再起動させてください。（P103）
マニュアルモードに切換えてください。	オート / マニュアル切換えスイッチを［AUTO］にして、メニュー画面から「シーンモード」を設定しようとしています。
ナイトビューモードを解除してください。	カラーナイトビューを設定しているときに、ビデオ撮影モードでメニュー画面から「シーンモード」を設定しようとしています。（P44）
パワー LCD モードを解除してください。	パワー LCD ボタンを押して、液晶モニターが明るくなっているときにメニュー画面から「液晶 AI」を設定しようとしています。
インクがありません。	接続しているプリンターを確認してください。
用紙がありません。	
プリンタを確認してください。	
モード切換時は USB ケーブルを抜いてください。	USB 接続ケーブルをつないだ状態で、PC 接続モードから他のモードに切り換えています。
AC アダプタとバッテリーを接続してください。	PC 接続モードで AC アダプターが接続されていない、または、バッテリーが入っていない状態でパソコンと接続しようとしています。
USB ケーブルを再接続してください。	一度 USB 接続ケーブルを抜いてから、本機にバッテリーを入れた状態でACアダプターを接続し、再度USB接続ケーブルをつないでください。
USB は使えません。 モードをかえてください。	ビデオ再生モードでUSB接続ケーブルをつないでいます。
USB 機能は使えません。 ケーブルを抜いてください。	プリンター接続時、またはパソコン接続時で接続中状態が5 分以上続くと表示されます。
USB ケーブル接続中のため操作はできません。	パソコン接続中は本機の電源を切れません。

④ 画面の表示（つづき）

■ 修復について

SD カードにアクセスしたときや、サムネイル表示時にグラデーション表示されるシーンを再生しようとしたとき（P102）、または異常な管理情報や他機器で作成されたプレイリスト情報を読み込んだ場合、下記のような管理情報の修復やプレイリストの削除メッセージが表示されることがあります。（修復を行った場合、エラー内容によっては時間がかかることがあります）

管理情報にエラーを検出しました。AC アダプタを接続することをお勧めします。

↓

修復を行いますか？

↓

はい / いいえ

「はい」

AC アダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合
「管理情報は正常に修復されました。」
バッテリー残量が少ない場合
「AC アダプタを接続するかバッテリーをとりかえてください。」

「いいえ」

「管理情報エラーのためこのカードはビデオモードでは使えません。」

プレイリストにエラーを検出しました。エラープレイリストを削除しますか / プレイリストにエラーを検出しました。全プレイリストを削除しますか？

↓

はい / いいえ

「はい」

AC アダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合
「プレイリストを削除しました。」
バッテリー残量が少ない場合
[AC アダプタを接続するかバッテリーをとりかえてください。]

「いいえ」

「管理情報エラーのためこのカードはビデオモードでは使えません。」

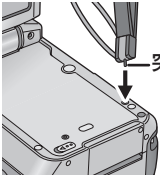
- 修復やプレイリストの削除を行うと、ビデオの記録 / 再生ができるようになりますので、必ず修復もしくは削除を行ってください。
- 他機で記録されたデータを修復すると、本機や他機で再生できなくなることがあります。本機で記録したデータは必ず、本機で修復してください。
- 修復に失敗したときは、本機（写真撮影モードまたは写真再生モード）で SD カードをフォーマットしてください。

⑤ 同時に使えない機能一覧

本機では仕様上、お使いの機能によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。下の表は機能が制限される例です。

使えない機能	使えなくなる条件
デジタルズーム カラーナイトビュー	● 写真撮影モード時
逆光補正	● カラーナイトビュー使用時 ● 絞り・ゲイン設定時
フラッシュ	● ビデオ撮影モード時 ● デモモード中
シーンモード	● オートモード時 ● カラーナイトビュー使用時
ズーム	● 写真撮影時で撮影ボタン半押し時

使えない機能	使えなくなる条件
白バランスモードの変更	● デジタルズーム（約10倍以上）使用時 ● カラーナイトビュー使用時
シャッター速度 絞り・ゲインの調整	● カラーナイトビュー使用時 ● シーンモード使用時
シーン削除	● SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっているとき（P14） ● ロック設定時
フォーマット DPOF設定 ロック設定	● SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっているとき（P14）

⑥ Q&A

こんなときは？	ご確認ください
電源が入らない	● **バッテリーは十分に充電されていますか？** → バッテリーチャージャー、AC アダプターまたはカーアダプターを使って充電してください。（P15）
電源が勝手に切れる	● **本機を約 5 分間記録操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる場合があります。（P93）再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。** **また、パワーセーブ（P93）を「切」に設定すると、自動的に電源は切れません。**
電源が入ってもすぐに切れる	● **バッテリーが消耗していませんか？** → バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリー残量がありません。」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電してください。（P15）
バッテリーの消耗が早い	● **十分に充電されていますか？** → バッテリーチャージャー、AC アダプターまたはカーアダプターを使って充電してください。（P15） ● **低い温度のところで使っていませんか？** → バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用できる時間が短くなります。 ● **バッテリーが寿命になっていませんか？** → バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● **リセットボタンを押してください。（P103）それでも直らない場合は、バッテリー、AC アダプターまたはカーアダプターを外して 1 分程度たってから再度、バッテリー、AC アダプターまたはカーアダプターを付けて電源を入れ直してください。（カード動作中ランプが点灯中に上記の操作を行うと、SD カードのデータが破壊されることがあります）**
ワイヤレスリモコンが働かない	● **リモコンのコイン電池が消耗していませんか？** → 新しいコイン電池と交換してください。（P12）
画面が急に変わった	● **デモ（デモンストレーション）が始まったのではないですか？** → ビデオ撮影モードまたは写真撮影モードで、SD カードを入れずに「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。通常は「切」にしてお使いください。（P93）

こんなときは？	ご確認ください
電源、SD カードを正しく入れているのに撮影できない	● **SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていませんか？** → 書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。（P14） ● **SD カードの容量がなくなっていませんか？** → 容量がないときは、シーンをパソコンに保存するなどしたあと（P82）、不要なシーンを削除してください。（P64） ● **ビデオ撮影モードまたは写真撮影モードにしていますか？** → モードダイヤルが、 と 以外のときは撮影できません。（P21） ● **カード扉が開いていませんか？** → カード扉が開いていると、本機が正しく動作しないことがあります。カード扉を閉じてお使いください。（P13）
ビデオ撮影中に突然記録が停止する	● **ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いですか？** → ビデオ撮影に使用可能なSDカードをお使いください。（P36、37）
自動でピントが合わない	● **マニュアルフォーカスになっていませんか？** → オートモードにすると自動でピントが合います。（P34） ● **オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影していませんか？** → オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。（P106）この場合は手動でピントを合わすことができます。（P47） ● **カラーナイトビューを設定していませんか？** → カラーナイトビューを働かせていると、フォーカスはマニュアルになります。（P44）
画面中央に文章表示が出る	● **内容を確認し、対応してください。（P96）**
機能表示（モード表示、残量表示、カウンター表示など）が出ない	● **「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっていると、警告、日付表示など以外は消えます。**
本機のスピーカーから再生音声が出ない	● **音量調整が小さくなりすぎていませんか？** → 再生時にボリュームレバーを動かして音量表示を出し、音量を調整することができます。（P60）
テレビと正しく接続しているのに再生映像が出ない	● **テレビの入力切換がビデオ入力になっていますか？** → テレビの説明書をご覧になり、接続したビデオ入力を選んでください。

❻ Q&A（つづき）

こんなときは？	ご確認ください
再生映像がきれいに映らない 音声が途切れたり、ノイズが入る	● マルチケーブルの端子部が汚れていると、画面や音声にノイズが入ることがあります。柔らかい布で汚れをふき取ってから、マルチコネクターに接続してください。
テレビで再生したときに映像の端が切れる	● テレビによっては本機から出力される映像の周囲が映らないことがあります。あらかじめ、撮りたいものの周囲を広めに撮影しておくことをおすすめします。
写真がきれいに撮影されない	●「 」にして、細かいものを撮影していませんか？ →「 」で細かいものを撮影すると、モザイク状になることがあります。「 」にして撮影してください。(P54)
SDカードに記録されたシーンが削除できない	● シーンがロックされていませんか？ → ロック設定をしていると削除できません。(P66) ● SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると削除できません。(P14)
SDカードの画像がおかしい	● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも保存するようにしてください。(P82)
再生中に「再生できません。」と表示される	● 形式の異なるデータや壊れたデータを再生しています。
表示が消える 画面が動かなくなる 操作できなくなる	● 電源を切ってください。電源が切れないときは、リセットボタンを押すか、バッテリー、AC アダプターまたはカーアダプターを外して付け直してください。そのあと電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(P131 ～ 133) にお問い合わせください。
サムネイルが正常に表示されない	● グラデーションでサムネイル表示されたシーンは再生または削除できません。不要な場合は SD カードをフォーマットしてください。フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができませんので、お気を付けください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。本機で撮影した画像をパソコンに取り込む場合は、必ず MotionSD STUDIO をお使いください。(P75)

こんなときは？	ご確認ください
SDカードをフォーマットしても使えるようにならない	● 本機または SD カードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。
「RESET ボタンを押してください。」と表示される	● 本機が異常を検出しました。データ保護のためにSDカードを取り出してから、ハンドストラップ（付属）の突起部でリセットボタンを押してください。本機が再起動します。 リセットボタンを押すと、時計設定もリセットされますので、再度時計設定をしてください。（P29） 突起部 ● リセットボタンを押しても、何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● Web カメラドライバーはインストールされていますか？ → ドライバーのインストールを行い、接続を確認してください。 ● 本機の操作モードは正しいですか？ → ビデオ再生モードにしていると認識しません。（P82） ● パソコンに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してみてください。 ● 動作環境を確認してください。（P77、78） ● 本機の電源を入れてください。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。
Web カメラモードで動作中に警告表示「!」が出る	● 撮影ボタンなどを押していませんか？ → Web カメラモード中は、撮影できません。 ● Web カメラドライバーはインストールされていますか？ → ドライバーのインストールを行い、接続を確認してください。
パソコンと接続すると「PictBridge」表示が点滅する	● 写真再生モードで Windows XP のパソコンと接続しています。 → PictBridge 対応のプリンターと接続してください。
プリンターと接続すると「WEB」表示が出る	● ビデオ撮影モード、または写真撮影モードでプリンターと接続しています。 → 写真再生モードに切り換えてください。

その他

⑦ つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外(スキー場のゲレンデなど)から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 冷房の効いた車などから車外へ持ち出したとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 夏の夕立のあと
- 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ(温水プールなど)

寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは

例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

レンズがくもっているときの処置のしかた

バッテリー、AC アダプターまたはカーアダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

⑧ 海外で使う

撮ったものを海外で見るには

テレビに接続して見る場合、日本と同じテレビ方式(NTSC)の映像 / 音声入力端子付テレビと接続コードなどが必要です。

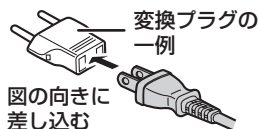
■ 日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国	●コスタリカ	●ドミニカ共和国	●ベトナム(一部地域)
●アンチグア・バーブーダ	●コロンビア	●ドミニカ国	●ベネズエラ
●イエメン(一部地域)	●ジャマイカ	●トリニダード・トバゴ	●ベリーズ
●英領バーミューダ諸島	●スリナム	●ニカラグア	●ペルー
●エクアドル	●セントクリストファー・ネイビス	●ハイチ	●ボリビア
●エルサルバドル	●セントビンセント・グレナディーン諸島	●パナマ	●ホンジュラス
●ガイアナ	●セントルシア	●バハマ	●マーシャル諸島
●カナダ	●大韓民国	●バルバドス	●マリアナ諸島
●キューバ	●台湾	●フィジー	●ミクロネシア連邦
●グァテマラ	●チリ	●フィリピン	●ミャンマー
●グァム島		●プエルトリコ	●メキシコ
●グレナダ		●米領サモア	

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

海外で使用するには

ACアダプター / バッテリーチャージャーは、電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。

ACアダプター / バッテリーチャージャーは日本国内で使用することを前提として設計されており、海外旅行などでの一時使用では問題ありませんが、継続的な使用は避けてください。

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

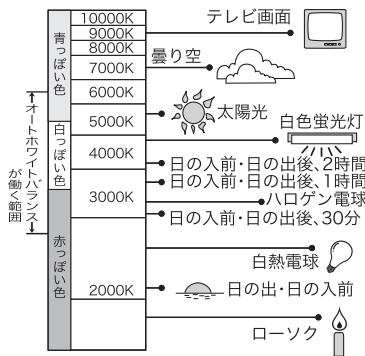
北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B.BF	イタリア	C
ウクライナ	C	オーストリア	C	オランダ	C	カザフスタン	C
ギリシャ	C	スイス	B.C	スウェーデン	C	スペイン	A.C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C	ベラルーシ	C	ベルギー	C
ポーランド	B.C	ポルトガル	B.C	ルーマニア	C	ロシア	C
アジア							
インド	B.C	インドネシア	B.C	シンガポール	B.BF	スリランカ	B
タイ	A.BF.C	大韓民国	A.B.C	台湾	A	中華人民共和国	A.B.BF.C.S
ネパール	C	パキスタン	B.C	バングラデシュ	C	フィリピン	A.C.S
ベトナム	A.C	香港特別行政区	B.BF	マカオ特別行政区	B.C	マレーシア	B.BF.C
モルジブ	B	モンゴル	C				
オセアニア							
オーストラリア	S	グァム島	A	タヒチ	C	トンガ	S
ニュージーランド	S	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B.C
ハイチ	A	パナマ	A	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A.C	ベネズエラ	A	ペルー	A.C	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	イラン	C	クウェート	B.C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	エジプト	B.BF.C	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B.C	ザンビア	B.BF	タンザニア	B.BF	南アフリカ共和国	B.C
モザンビーク	C	モロッコ	C				

タイプ	形状	変換プラグ
A		不要
B		
BF		
C		
S		

その他

❾ 用語解説

オートホワイトバランス

本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサーとレンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。
この機能のことをオートホワイトバランスといいます。
しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。

オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

白バランス（ホワイトバランス）

本機で撮影すると、光源の影響を受け赤っぽく撮れたり、青っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起こらないように、白バランスという調整をします。
白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。
白色はすべての色（光）の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。

以下のような特性があります。

- 被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する
- よりコントラストの強いものに焦点を合わそうとする
- 画面の中央部にしか焦点が合わない

このような特性のため、次のようなシーンでは、オートフォーカスは正しく働きません。
マニュアルフォーカスで撮影してください。

● 遠くと近くのものを同時に撮る
画面の中央に焦点が合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方に焦点を合わせることはできません。

● 汚れたガラスの向こうのものを撮る
汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものに焦点が合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

● キラキラと光るものが周りにある
キラキラ光るものに焦点が合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

● 暗い場所を撮る
レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

● 動きの速いものを撮る
機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。
例えば、激しく動き回る子どもを撮るときは、ピントがぼけることがあります。

●コントラストの少ないものを撮る
コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、焦点が合いにくくなります。

MPEG2 動画
MPEG とは、Moving（ムービング） Picture（ピクチャー） Experts（エキスパーツ） Group（グループ） の略で、動画像圧縮のフォーマットの名称です。
MPEG2 は、1 秒間に 30 コマの画像データを送信することにより、動画をより美しくなめらかに再生することができます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠	**危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）**

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーパックの充電は専用充電器（本体）または本機専用のバッテリーチャージャーを使用する

本機または指定の充電器以外で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠危険

バッテリーチャージャーは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 付属の袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要(寿命)になったバッテリーについては、119ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプター/バッテリーチャージャーなどの電源プラグに触れない

落雷すると、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V～240 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コイン電池、SD メモリーカード、カーアダプターの取り外し可能な部品（ヒューズ・端子金具・キャップ）やキャップ外しシートは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠警告

電源プラグ、カーアダプターの入力プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグ、カーアダプターの入力プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

異常があったときは、電源プラグ、カーアダプターの入力プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

電源プラグを抜く

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

カーアダプターをブレーキやクラッチの下に入り込ませない

クラッチの下に入るとブレーキやクラッチが効かなくなり、交通事故誘発につながります。

カーアダプターは 24 V 車、⊕ アース車には使わない

使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

カーアダプターに指定以外のヒューズは使わない

容量が異なると、過電流が流れ、発熱します。プラグケースが変形し、内部部品も破損します。そのまま使うと、火災・故障の原因になります。

- ヒューズを交換するときは、必ず指定のものを使ってください。

カーアダプターは運転の妨げにならないように取り付ける

接続したコードなどに引っかかり、運転に支障をきたすと、交通事故やけがの原因になります。

⚠注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● カードは、保護のため取り出しておいてください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠注意

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない

やけどの原因になることがあります。

●発光直後は、しばらく触らないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

⚠注意

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機やバッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプターまたはカーアダプターなどを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

コイン電池は誤った使いかたをしない

- ⊕ と ⊖ は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺汚損の原因になることがあります。

⚠注意

カーアダプターをシガレットライターソケットに差し込んだまま放置しない

自動車のバッテリーがあがり、運転できなくなる恐れがあります。

● 使用後は必ず外してください。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体が温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリー、ACアダプターまたはカーアダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。(SDカードの出し入れ時はお気を付けください)
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと、乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外す、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

長期間使用しない場合について

- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 入れたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプター（付属）やバッテリーチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P105）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体に付けると、本体をいためます。

保存時のお願い

- 端子部に金属が触れないように付属の袋に入れて保管してください。
（袋は捨てないでください）
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度：15 ℃～25℃、推奨湿度：40％～60％です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- 充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください

使用済み充電式電池（バッテリー）の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

使用上のお願い（つづき）

ACアダプター/バッテリーチャージャーについて

- 必ず、付属の AC アダプター / バッテリーチャージャーをお使いください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプター/ バッテリーチャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター / バッテリーチャージャー単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター / バッテリーチャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

AC アダプターまたはカーアダプター使用時の充電エラーについて

本機の動作表示ランプの点滅速度が早いまたは遅いときは、以下の状態が考えられます。

約６秒間隔で点滅（約３秒点灯、約３秒消灯）：

- バッテリーが過放電されている場合、あるいはバッテリーの温度が高いまたは低い場合です。充電はできますが、場合によっては正常に充電が始まるまでに数時間かかる場合があります。

約 0.5 秒間隔で点滅（約 0.25 秒点灯、約 0.25 秒消灯）：

- 充電ができていません。一度バッテリーを本機から取り出してから、再度充電してください。
- バッテリーや周囲の温度が極端に高過ぎる、もしくは低過ぎます。適温になるまで待ってから、再度充電してください。それでも充電できないときは、本体やバッテリー、AC アダプターまたはカーアダプターなどの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P131 〜 133）にお問い合わせください。

消灯：

- 充電が完了しています。
- 充電が完了していないのに、動作表示ランプが消灯しているときは、バッテリー、AC アダプターまたはカーアダプターの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P131 〜 133）にお問い合わせください。

- バッテリーチャージャーの充電ランプについては15ページを参照してください。
- バッテリーについて、詳しくは 119 ページを参照してください。

SD カードについて

- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。

- 長時間ご使用になると本機表面やSD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

SDカードの出し入れは必ず電源を切った状態で行う

カード動作中ランプが点灯中(SDカードにアクセス中)は、カード扉を開けて SD カードを抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SD カードが破壊される恐れがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。

使用後は、必ず SD カードを取り出して、保管する

- 使用後や保管時、持ち運びのときは、収納ケース(付属)などに入れてください。
- SD カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また、手などで触れないでください。

miniSD™カード(別売)について

- miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターを装着してご使用ください。miniSD™ カードのみを入れると、本機や miniSD™ カードが故障する場合があります。
- miniSD™ アダプターのみを本機に入れないでください。また、miniSD™ アダプターを本機に入れた状態で miniSD™ カードのみを抜き差ししないでください。正常に動作しない場合があります。

液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点は SD カードの映像には記録されませんのでご安心ください。

−このマークがある場合は−

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

使用上のお願い（つづき）

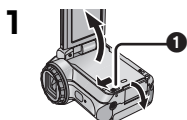
キャリングバッグ/キャリングケースについて

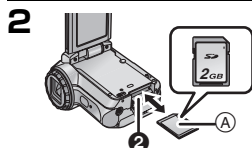
● SD ビデオカメラの出し入れやケースの持ち運びなどの際に、大きな衝撃を与えないようにしてください。
● 直射日光が当たる車の中や、浴室など湿度の高いところに放置しないでください。
● 湿度の高いところにケースを放置しないでください。
かびの発生や変質の原因になります。
● 汚れを落とすときは、水分を含んだ布などをよく絞って、ふいてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
● ぬれたときは、乾燥したタオルなどでぬれた部分の水分をふき取り、形を整えたあと、陰干しして十分乾かしてください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
● 保管は、涼しく、乾燥していて風通しのよい、ほこりや化学薬品のないところにしてください。

Quick guide (English)

■Inserting/Removing an SD card

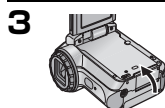
Before inserting/removing an SD card, be sure to turn the power [OFF].
If the SD card is inserted or removed with the power turned on, this unit may malfunction or the data recorded on the SD card may be lost.

1

Open the LCD monitor and then slide the card slot open lever ❶ to open the card slot cover.

2

Insert/remove the SD card into/from the card slot ❷.

Ⓐ Label side

- When inserting an SD card, face the label side towards you and press it straight in with one stroke as far as it goes.
- When removing the SD card, open the card slot cover and press the centre of the SD card and then pull it straight out.

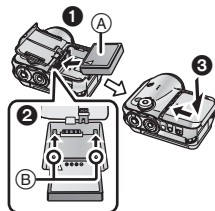
3

Securely close the card slot cover.

■Inserting/Removing the Battery

1

Remove the battery cover.

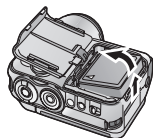
❶ **While pushing the battery cover,**
❷ **slide it in the direction of the arrow.**

2

Insert the battery.

❶ **Place the battery label side up.**
❷ **Insert the projecting parts of the battery in the holes on the unit.**
❸ **Put the battery cover back in its original place.**

Ⓐ Label
Ⓑ Projecting parts

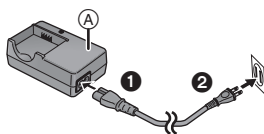
- After inserting the battery, put the battery cover back in its original place.

Removing the battery

Remove the battery cover, then remove the battery.

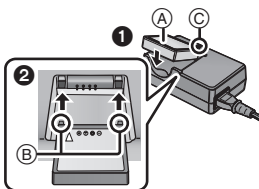
- After removing the battery, put the battery cover back in its original place.

■Charging the Battery

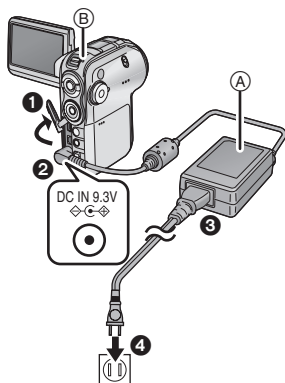
When this unit is purchased, the battery is not charged. Charge the battery before using this unit.

1

Using the battery charger
Connect the battery charger Ⓐ to the AC outlet.

❶ **Connect the battery charger to the AC mains lead.**
❷ **Connect the AC mains lead to the AC outlet.**

2

Attach the battery to the battery charger.

❶ **Place the battery label side Ⓐ up.**
❷ **Insert the projecting parts of the battery Ⓑ in the holes on the battery charger with one stroke as far as it goes.**

- The charge lamp Ⓒ lights and charging starts. The lamp goes off when charging finishes.

Charging the battery when it is inserted in this unit

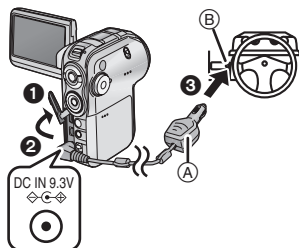
◇Set the power switch to [OFF].

Connect the AC adaptor Ⓐ to this unit and the AC outlet.

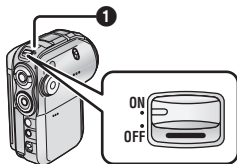
❶ Open this unit's terminal cover.
❷ Connect the AC adaptor to this unit's DC input terminal [DC IN 9.3V].
❸ Connect the AC mains lead to the AC adaptor.
❹ Connect the AC mains lead to the AC outlet.

- The status indicator Ⓑ starts blinking in red at intervals of about 2 seconds to signal that charging has commenced. Charging is completed when the lamp goes off.

■Using in the Car

◇Start the car engine before connecting the Car adaptor.

Connect the Car adaptor Ⓐ to this unit and the Cigarette lighter Socket Ⓑ.

❶ Open this unit's terminal cover.
❷ Connect the Car adaptor to this unit's DC input terminal [DC IN 9.3V].
❸ Connect the Car adaptor to the Cigarette lighter socket.

■Turning the unit on/off

How to turn on the power

Set the power switch to [ON].

The status indicator ❶ lights red and, in motion picture recording mode or still picture recording mode, the lens cover opens.

How to turn off the power

Set the power switch to [OFF].

The status indicator goes out and the lens cover closes.

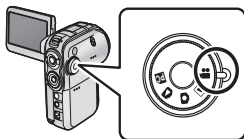
- If the LCD monitor is closed in motion picture recording mode or still picture recording mode, the power turns off.

■ Selecting a language

You can switch the language on the menu screen.

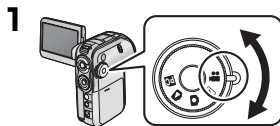
Press the menu button, use the cursor button to select [LANGUAGE], then select [ENGLISH].

■ Selecting a mode

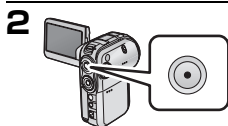
The Mode Dial is used to switch between recording and playback modes.
Rotate the mode dial slowly but surely. Set the desired mode.

Rotate the mode dial, and set the desired mode pictograph to the position shown in the illustration.

■ Recording motion pictures

Record a motion picture on the SD card.

1

Rotate the mode dial to select .

The lens cover now opens automatically.

2

Press the record button to start recording.

Ending the recording

Press the record button again.

- ● and ❚❚ are red during recording. Do not move this unit until ❚❚ is green.

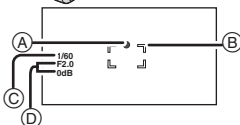
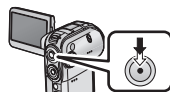
■ Still picture recording

1

Rotate the mode dial to select .

The lens cover opens automatically.

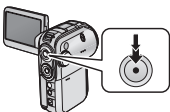
その他

2

Press the record button halfway (not all the way down) to bring the subject into focus.
(In auto focusing mode only)

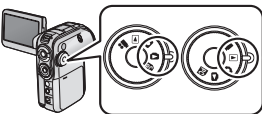
Ⓐ Shutter chance mark
Ⓑ Focus area
Ⓒ Shutter speed
Ⓓ Iris/gain

The shutter speed and the iris/gain value are fixed and the unit focuses on the subject automatically.

- When the record button is pressed halfway, the shutter chance mark is indicated as follows.
  – ○ (The white lamp flashes.):Focusing
  – ● (The green lamp lights up.):When in focus
  – No mark: When focusing is unsuccessful

3

Press the record button all the way down (as far as it will go) to record.

■ Playback

1

Rotate the mode dial to select [▶] or .

The lens cover closes automatically.
The motion or still pictures (up to 12 scenes) recorded on the SD card are displayed as thumbnails.

2

Press the cursor button up, down, left or right to select the scene to be played back.

The selected file will be encircled by a red frame.

3

Press the button in the centre of the cursor button.

The selected scene is played back on the full screen.
The operation icon is automatically displayed on the LCD monitor.

4 **Press the cursor button up, down, left or right to operate.**

仕様

SD ビデオカメラ

電源	DC 9.3 V(AC アダプター使用時)/7.4 V(バッテリー使用時)
消費電力	録画時：3.9 W（AC アダプター）/3.5 W（バッテリー）

信号方式	NTSC 日米標準信号方式
撮像素子	CCD 固体撮像素子× 3 総画素　約 80 万× 3、 有効画素　動画　:約 64 万× 3(4:3)/ 約 54 万× 3(16:9) 静止画:約 71 万× 3(4:3)/ 約 54 万× 3(16:9)
レンズ	自動絞り 10 倍電動ズーム F1.8 ～ F2.8/f ＝ 3.0 mm ～ 30.0 mm 35 mm 換算 動画　:45.6 mm～456 mm(4:3)/46.7 mm～467 mm(16:9) 静止画 :43.4 mm～434 mm(4:3)/47.0 mm～470 mm(16:9) テレマクロ付き（フルレンジ AF）
フィルター径	37 mm
ズーム	光学 10 倍･デジタル 25/100 倍
モニター	2.8 型ワイド液晶モニター（約 21 万画素）
マイク	ステレオマイクロホン（ズーム機能付）
スピーカー	ダイナミック型
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 lx
最低照度	12 lx（カラーナイトビュー時　1 lx）
記憶メディア	SD メモリーカード：8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで(FAT12、FAT16 形式に対応)
映像出力	1.0 Vp-p 75 Ω
S 映像出力	Y 出力：1.0 Vp-p 75 Ω C 出力：0.286 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV　インピーダンス 600 Ω
ヘッドホン出力	77 mV 32 Ω 負荷時
USB	カードリーダーライター機能（著作権保護対応無し） USB2.0 準拠（ハイスピード）、USB 端子 TYPE miniB PictBridge 対応　Web カメラ機能
フラッシュ	GN 4.5 使用可能範囲：約 1 m ～ 2 m

仕様（つづき）

外形寸法	幅 49.9 mm × 高さ 97.2 mm × 奥行き 80.6 mm（突起部除く）
本体質量	約 245 g
使用時質量	約 285 g（バッテリー、SD メモリーカード含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10 %～ 80 %
バッテリー持続時間	16 ページを参照してください。

ビデオ

圧縮方式	MPEG2（SD-Video 規格準拠）
記録画素数	704 × 480
転送レート	XP（高画質）：約 10 Mbps (VBR)、30 fps SP（標準）　：約 5 Mbps (VBR)、30 fps LP（長時間）：約 2.5 Mbps (VBR)、30 fps
音声圧縮形式	MPEG1-Layer2 準拠（ステレオ）

写真

圧縮方式	JPEG (DCF/Exif2.2 準拠)、DPOF 対応
記録画素数	2048 × 1512、1280 × 960、640 × 480 1920 × 1080（HDTV）

Web カメラ

圧縮方式	Motion JPEG 準拠
記録画素数	320 × 240（QVGA）
フレームレート	約 6 fps

AC アダプター

電源	AC 100 V—240 V　50/60 Hz
入力容量	23 VA（AC 100 V 時）—27 VA（AC 240 V 時）
出力	DC 9.3 V　1.0 A

バッテリーパック

最大電圧	DC 8.4 V
公称電圧	DC 7.4 V
定格容量	760 mAh

カーアダプター

電源	DC 12 V（自動車のシガレットライターソケット部より）
出力	DC 9.3 V　1.0 A

バッテリーチャージャー

電源	AC 100 V—240 V　50/60 Hz
入力容量	20 VA（AC 100 V—240 V 時）
充電出力	DC 8.4 V　0.75 A

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

- **修理は､サービス会社･販売会社の｢修理ご相談窓口｣へ！**
- **使いかた･お買い物などのお問い合わせは､｢お客様ご相談センター｣へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ､お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと､保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
（｢本体｣にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は､この SD ビデオカメラの補修用性能部品を､製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ､直らないときは､まず接続している電源を外して､お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD ビデオカメラ
品　番	SDR-S300
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので､恐れ入りますが､製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については､ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は､技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料 は､診断･故障個所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は､修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は､製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は､お客様の個人情報やご相談内容を､ご相談への対応や修理､その確認などのために利用し､その記録を残すことがあります。
また､個人情報を適切に管理し､修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き､第三者に提供しません。お問い合わせは､ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、下記をご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）☎(0138)48-6631
旭川 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011		

その他

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

東 北 地 区

青森	青森市第二問屋町 3-7-10 ☎ (017)739-9712	岩手	盛岡市羽場13地割 30-3 ☎ (019)639-5120	山形	山形市平清水1丁目 1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市東通り2丁目 1-7 ☎ (050)5519-6348	宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	福島	福島県安達郡本宮町 字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

首 都 圏 地 区

栃木	宇都宮市御幸町 194-20 ☎ (028)689-2555	埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	山梨	甲府市宝1丁目 4-13 ☎ (055)222-5171
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	千葉	千葉市中央区 星久喜町172 ☎ (043)208-6034	神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市花畑2丁目 8-1 ☎ (029)864-8756	東京	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	新潟	新潟市東明1丁目 8-14 ☎ (025)286-0171

中 部 地 区

石川	石川県石川郡 野々市町稲荷 3丁目80 ☎ (076)294-2683	長野	松本市大字笹賀 7600-7 ☎ (0263)86-9209	岐阜	岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
富山	富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	静岡	静岡市駿河区西島 765 ☎ (054)287-9000	高山	高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市開発4丁目 112 ☎ (0776)54-5606	名古屋	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	三重	久居市森町字北谷 1920-3 ☎ (059)255-1380

近 畿 地 区

滋賀	守山市勝部6丁目 2-1 ☎ (077)582-5021	大阪	大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)672-9636	奈良	大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770	兵庫	神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	出雲	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	広島	広島市西区南観音 8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目 2-33 ☎ (0859)34-2129	浜田	浜田市下府町 327-93 ☎ (0855)22-6629	山口	山口県吉敷郡小郡町 下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江	松江市平成町 182番地14 ☎ (0852)23-1128	岡山	岡山市田中 138-110 ☎ (086)242-6236		

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	愛媛	松山市土居田町 750-2 ☎ (089)971-3644
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253				

九州地区

福岡	春日市春日公園 3丁目48 ☎ (092)593-9036	大分	大分市萩原4丁目 8-35 ☎ (097)556-3815	天草	本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市鍋島町大字 八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	宮崎	宮崎市本郷北方 字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	鹿児島	鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

さくいん

その他

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のＳＤビデオカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水などの液体や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SDR-S300
販売店名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

F1005Re0 (　7000 Ⓐ)

Panasonic®　SDビデオカメラ　SDR-S300 取扱説明書